

# 5. 調査報告

文京つつじまつり

例大祭

根津千駄木下町まつり

根津神社3つのまつり比較

## 1. つつじまつりの概要

つつじまつりは文京花の五大まつりの一つで根津神社境内にある約2000坪のつつじ苑で行われる。つつじまつりは約100種3000株のツツジが咲き見頃である4月下旬頃から始まる。(その年の気候により、かなり異なる。) つつじの種類が非常に多く、開花時期がそれぞれであるため、早咲きのつつじから遅咲きのつつじへと花が移り変わり、長い期間様々なツツジを楽しむことができるお祭りで、中には、風車のような花卉のハナグルマ、黒ツツジと呼ばれるカラフネ等珍しいものも見る事ができる。

### ～アンケート内容～

アンケート項目は以下の通りである。

性別	被験者の属性を把握する
年齢	被験者の属性を把握する
お住まい	被験者の属性を把握する
認知媒体	有効な情報手段を知り改善点を探る
同伴者の有無	まつりに誰と来ているかを把握する
来訪目的	来訪理由を知る
来訪回数	リピート率を把握する
例大祭の認知	例大祭の認知度を把握する
例大祭の来訪予定	例大祭の認知度・利用率を把握する
下町まつりの認知	下町まつりの認知度を把握する
下町まつりの来訪予定	下町まつりの認知度・利用率を把握する
文京つつじまつりの良かった点	継続していくべき点を把握する
文京つつじまつりの悪かった点	改善すべき点を把握する
文京つつじまつりについての要望	まつりへの満足度・意見を把握する

① 調査目的

つつじまつりを利用している人の属性を知り他の2つのまつりと比較するためである。

② 日時

平成25年度5月1日、2日、4日の計3日間である。

③ 場所及び被験者

文京つつじまつりにおいて、来場者を対象に実施した。

なお、このアンケート内に9月に行われる例大祭と10月に行われる下町まつりについての質問も入っているが、それは、例大祭と下町まつりでもアンケートを取り、このつつじまつりで得たアンケート結果と比較して考察するために質問に含んでいる。

## 第44回 文京つつじまつり 東海林ゼミアンケート

1. 性別 < 男性 / 女性 >
  
2. 年齢 < 19歳以下/20代/30代/40代/50代/60代/70代>
  
3. お住まい < >
  
4. 文京つつじまつりはどちらで知りましたか。  
<ポスター/回覧板/掲示板/口コミ/通りすがり/ホームページ/その他 ( ) >  
>
5. あなたは誰といらっしゃいましたか。 <友達/家族/一人で/その他 ( ) >
6. 来訪目的 例) 屋台の商品を購入、つつじの撮影 etc...  
< >
7. 文京つつじまつりは何回目ですか。 <初めて/2~5回/6~9回/10回以上>
  
8. 9月中旬に開催されている例大祭は知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >  
  
c. はいと答えた方にお聞きします。例大祭来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >
  
9. 10月に開催されている下町まつりは知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >  
  
c. はいと答えた方にお聞きします。下町まつり来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >
  
10. 文京つつじまつりの良かったところを挙げてください。  
< >
  
11. 文京つつじまつりの悪かったところを挙げてください。  
< >
  
12. 文京つつじまつりについて要望があったら書いてください。  
例) ゴミ、トイレ、不便 etc...  
< >

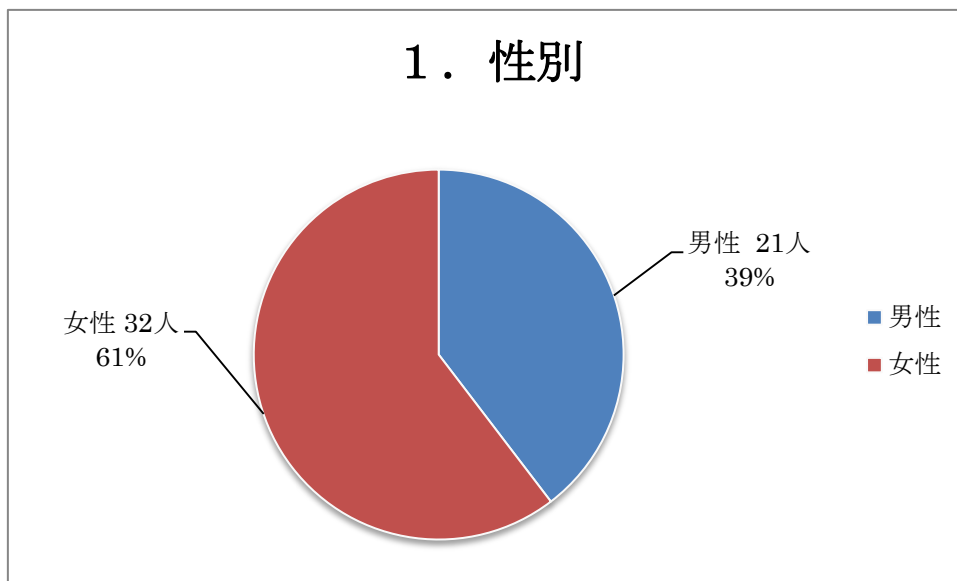
回答ご協力ありがとうございました。

## ～アンケート結果～

今回のつつじまつりのアンケート被験者数は53人であった。当初の被験者数の目標は50人であったためアンケートの目標取得数に達した。これはGWであったことと、天候に恵まれたということが大きな要因となったのではないかと考える。

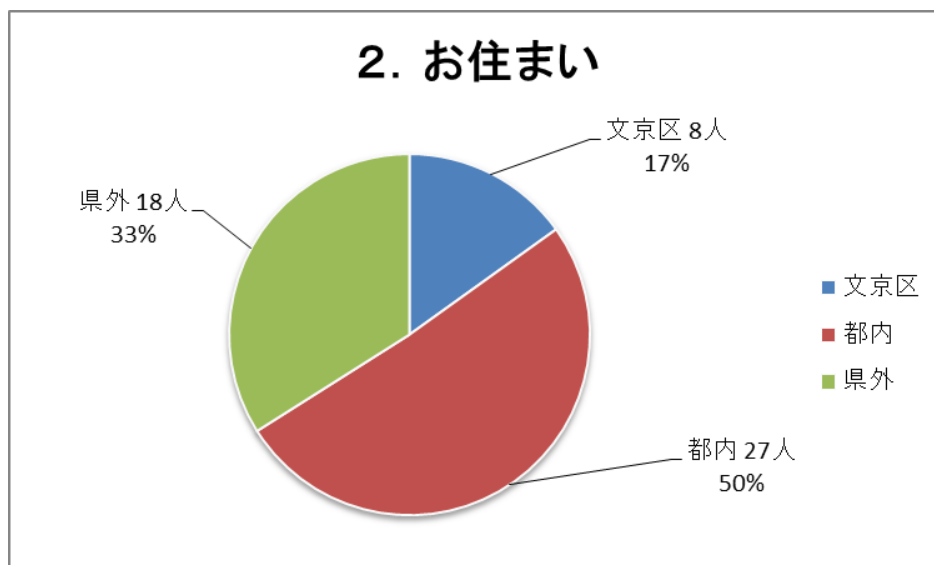
早速アンケートの結果について、以下に記していきたい。

### (1) 性別



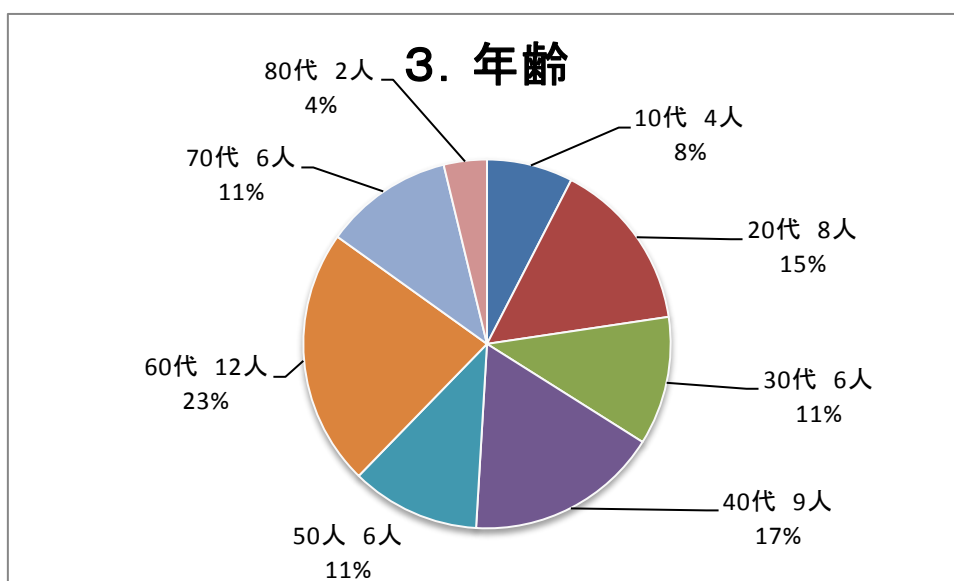
アンケートに答えてもらった人の割合は、男性が21人で39%、女性が32人で61%という結果であった。これは、つつじまつりということで、花に興味がある女性の来訪者が多かったのではないかと考えられる。

### (2) お住まい



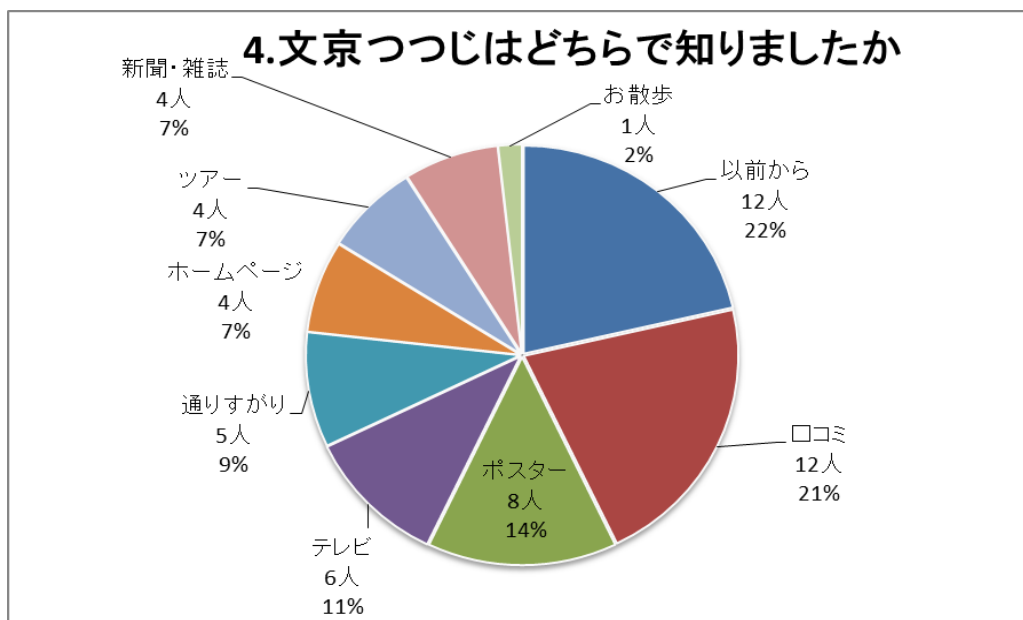
お住まいに関するアンケートについては、文京区内に住んでいる方が 8 人で 17%、都内に住んでいる人が最も多く 27 人で 50%、県外に住んでいる人が 18 人で 33%という結果であった。この結果において文京区内に住んでいる人の来訪者数が県外からの来訪者数よりも少ないということがとても驚いた結果であった。

### (3) 年齢



このアンケートに答えてくださった皆様の年齢は10代が4人で8%、20代が8人で15%、30代が6人で11%、40代が9人で17%、50代が6人で11%、60代が12人で23%、70代が6人で11%、80代が2人で4%という結果で、最もアンケートに答えてくださったのは60代の方々であった。実際に根津神社にて、アンケートを取っていた際、若い人よりも年配の方のほうが、多く来訪していたと感じた。

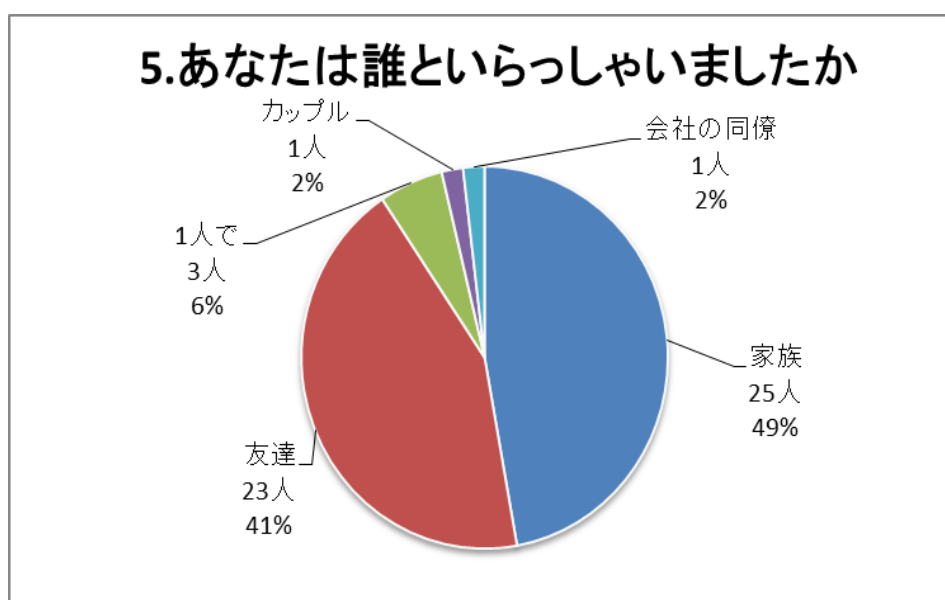
(4) つつじまつりをどこで知ったか



つつじまつりをどこで知ったかというアンケートについては、以前から知っていたという人が12人で22%、口コミで知ったという人が12人で21%、ポスターで知った人が8人で14%、テレビで知ったという人が6人で11%、通りすがりで来訪した方が5人で9%、ホームページで知った、ツアーで来た、新聞・雑誌で知って来たという人がそれぞれ4人ずつで7%、お散歩中に知ったという方が1人で2%という結果になった。この結果から、この祭りの広告媒体による宣伝は、どの方法においても、効果を発揮していると言えるのではないだろうか。

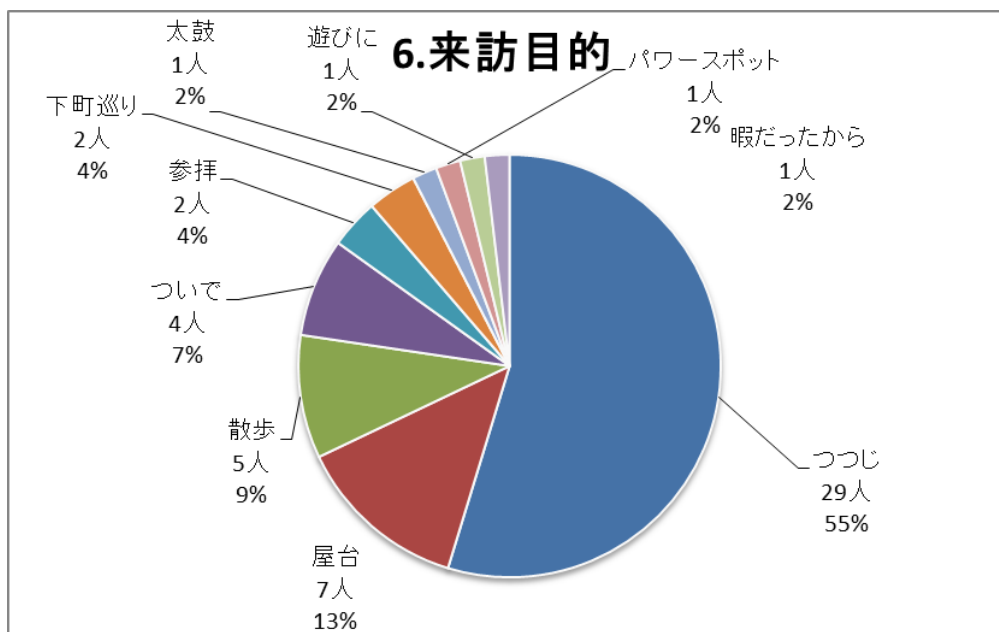
また、この質問は、複数回答を可に設定したため、53個以上の回答が生まれている。

(5) 同伴者について



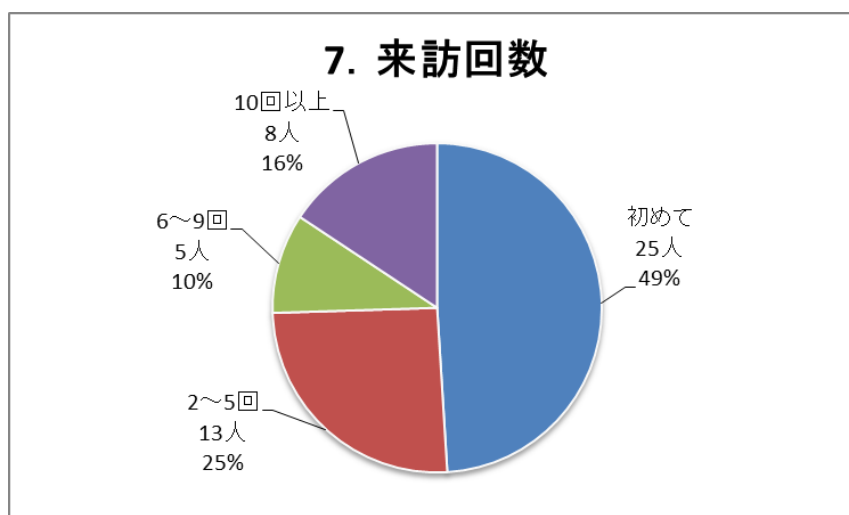
つつじまつりに、誰と一緒に訪れたかというアンケートには、家族連れで訪れたという方が 25 人で 49%、友達と一緒に訪れた人が 23 人で 41%、1 人で訪れた人が 3 人で 6%、カップルで来た、会社の同僚と来たという人が 1 人ずつで 2% という結果であった。家族で来た人が多いのは、アンケートを取った期日が GW であったということで、仕事がお休みの人がいたことと関係しているのではないかと考える。

### (6) 来訪目的



来訪目的に関するアンケートに対する質問に対しては 29 人 55% という半数を超える人が、つつじの観賞を目的来訪しており、その他の来訪理由としては屋台(7 人、13%)、散歩(5 人、9%)何かのついで(4 人、7%)などがあった。この結果は、やはり、つつじ祭りのメインはつつじであるということを示したデータになっていると思う。

### (8) 来訪回数

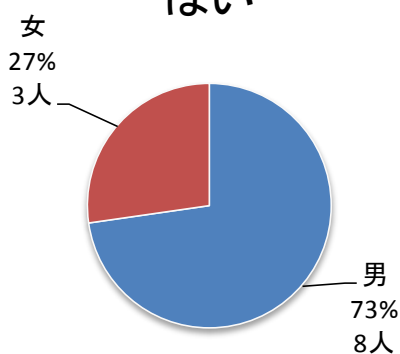




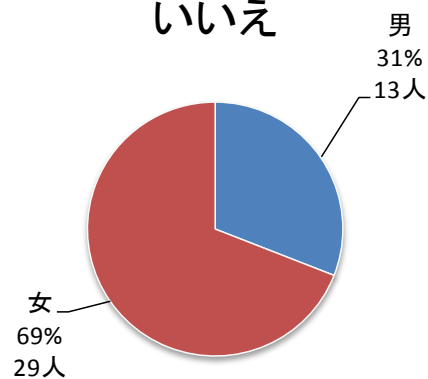
つつじまつりへの来訪回数についてのアンケートに対しては、25人、49%の人が「初めて」であるというデータが出た。これは、各広告媒体による、宣伝などが功を奏して、新規の来訪者の獲得に成功したことが関係しているのではないかと考える。

(9) 例大祭を知っていますか？

### 8. 例大祭を知っていますか はい

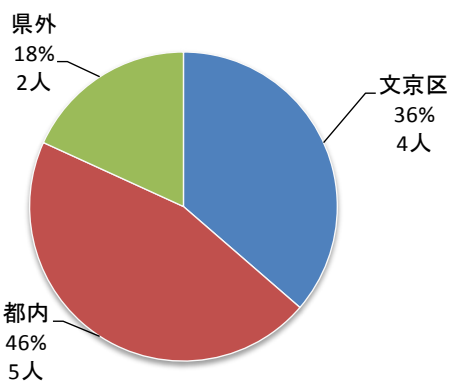


### 8. 例大祭を知っていますか いいえ

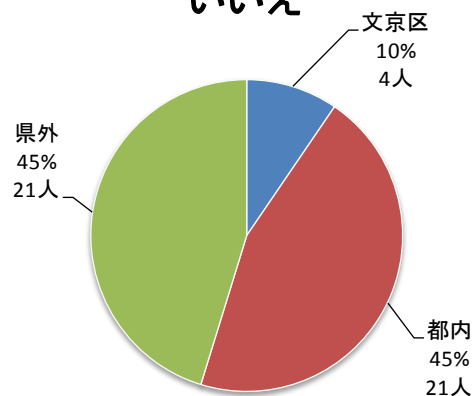


例大祭の認知に関する質問に対して、「はい」と答えた人は50人中11人で全体の約20%、「いいえ」と答えた人は42人で全体の約80%と知らない人が圧倒的に多かった。さらに、男女に分けて分析してみると、例大祭を知っている人は男性が8人、73%で女性は3人、27%で例大祭を知っている人の中でも男性の認知度が高いことがわかった。

### 8. 例大祭を知っていますか はい

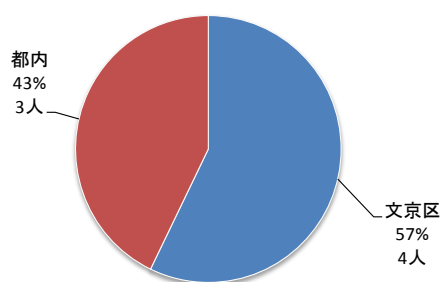


### 8. 例大祭を知っていますか いいえ

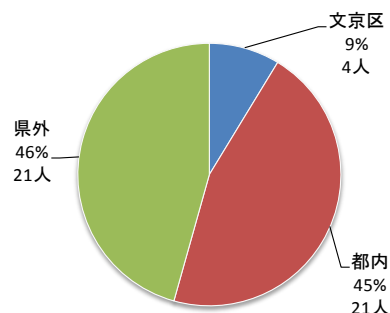


次に、地区別に認知度を分析すると、知っている人のなかでも文京区が4人、36%、都内5人46%、県外2人18%と、文京区を含めた都内の認知度が高かった。例大祭は、全国各地で開かれている祭事であるため、根津神社の例大祭の需要は低いのではないかと推測する。

### 8+α. 例大祭来訪予定はありますか はい



### 8+α. 例大祭来訪予定はありますか いいえ

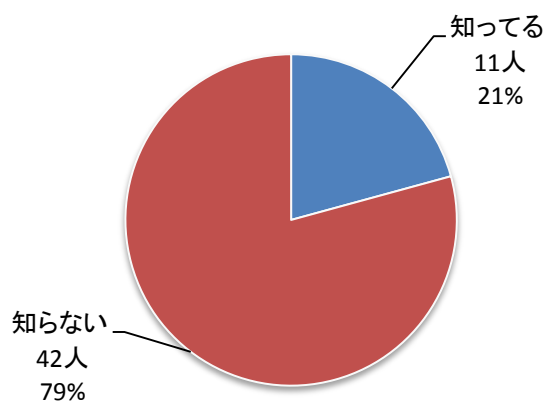


そのため、都内と県外の認知度が低いのであると考える。また、誘致距離もこの例大祭誘致に関係してくるだろう。また、「いいえ」と答えた人のなかでも文京区の居住者である人がいるため、宣伝広告の方法を考える必要があると感じた。

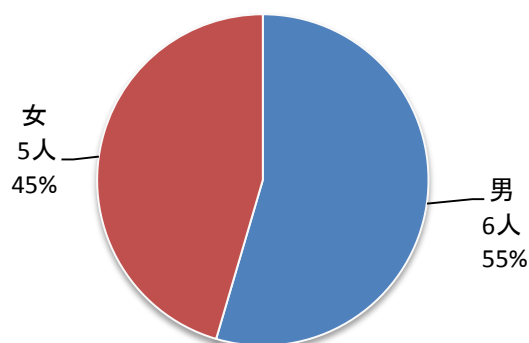
例大祭を知っている人の中で、来訪予定がある人は7人で、文京区4人、57%、都内3人、43%であった。県外の人には来訪予定がない事が分かった。来訪予定がない人は46人で、文京区4人、9%、都内は21人、45%、県外21人、46%であった。都内の例大祭を知っている25人の中で来訪予定がある人は約1割であったが、文京区内は8人中半数の4人が、来訪予定があると答えた。

### (9) 下町まつりを知っていますか？

### 9. 下町まつりを知っていますか

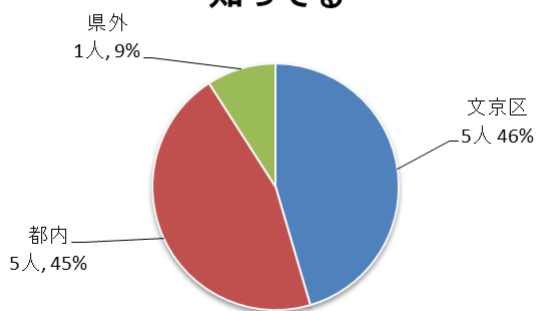


### 9. 下町まつりを知っていますか

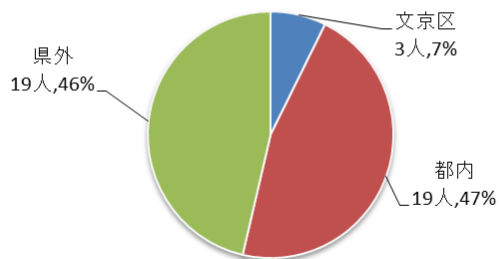


下町祭りを知っている人は53人中、11人、21%、知らない人は42人、79%であった。そこから分析するに、例大祭より知名度が低かった。男女差は見られない事が分かった。

### 下町まつりを知っていますか？ 知ってる

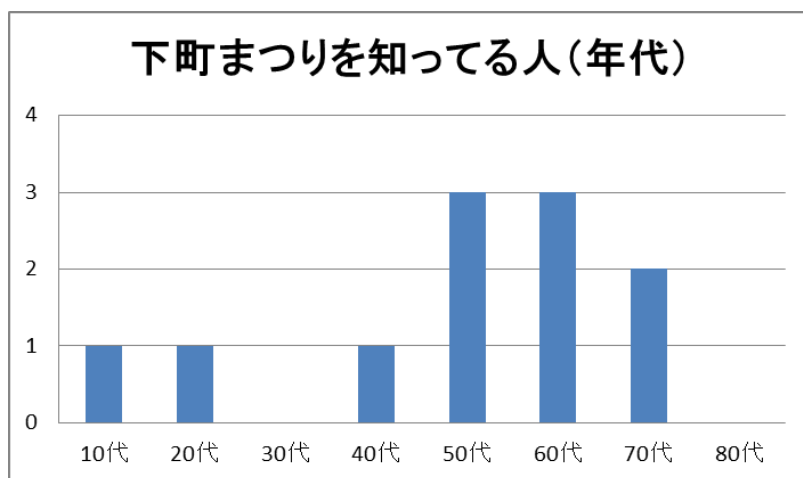


### 下町まつりを知っていますか？ 知らない



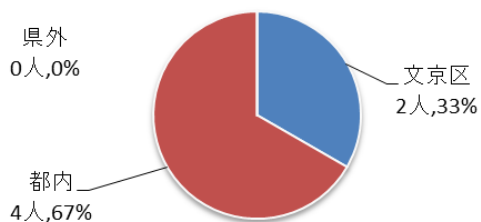
下町祭りの認知度を地域別にわけて分析すると、知っている人は文京区5人で46%、都内5人で45%、県外は1人で9%であった。また、知らない人は全体で41人と多いことが分かった。

### 下町まつりを知ってる人(年代)

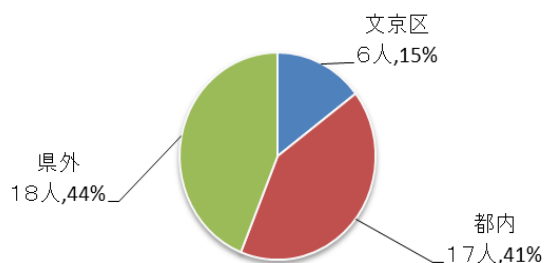


次に、年代別に知っている人を分析すると、主に50代、60代、70代の人を知っていることが分かった。地域主体で動くお祭りであるため、高齢者人口の意識が高いのではないかと考える。

### 9+α. 下町まつり 来訪予定はありますか？ はい



### 9+α. 下町まつり 来訪予定はありますか？ いいえ



下町まつり来訪予定は文京区 2 人で 33%、都内 4 人で 67%、県外 0 人で 0%であった。県外からの需要がない。下町まつりの来訪を考えてない人は全体で 41 人であった。

(9)つつじ祭りの良かったところ 自由回答

自由回答の中で挙げた、主な回答をまとめる。

- ・つつじがきれい 23 人
- ・出店がいい 5 人
- ・雰囲気がいい(にぎわっている) 4 人
- ・太鼓のパフォーマンスがいい 3 人

その他の回答として、伝統的でよい、地域の人のかさが感じられるなど、ハード面よりソフト面を重視する回答が多く述べられた。

(10)つつじまつりの悪かったところ 自由回答

- ・屋台の物価が高い
- ・屋台が密集しすぎである
- ・駅から遠い
- ・つつじの開花時期がお祭りと合っていない 各 1 人

以上の記述から屋台の配置などに関して改善することができるだろう。

(11)つつじまつりへの要望

- ・駐車場が少ないので増やしてほしい
- ・座って休むスペースを増やしてほしい
- ・案内板の充実を図ってほしい
- ・つつじの観賞エリアの有料(200円)を無料化にしてほしい

年代として、年配の観光客が多かったように感じたので、座って休んでいる人が多かった。ただ、椅子の配置が足りなかったため、樹の根元や鳥居の下の段差に座っている人が複数いた。また、つつじエリアの有料化については、花の管理維持に必要な財源であるため継続してもいいのではないかと思う。

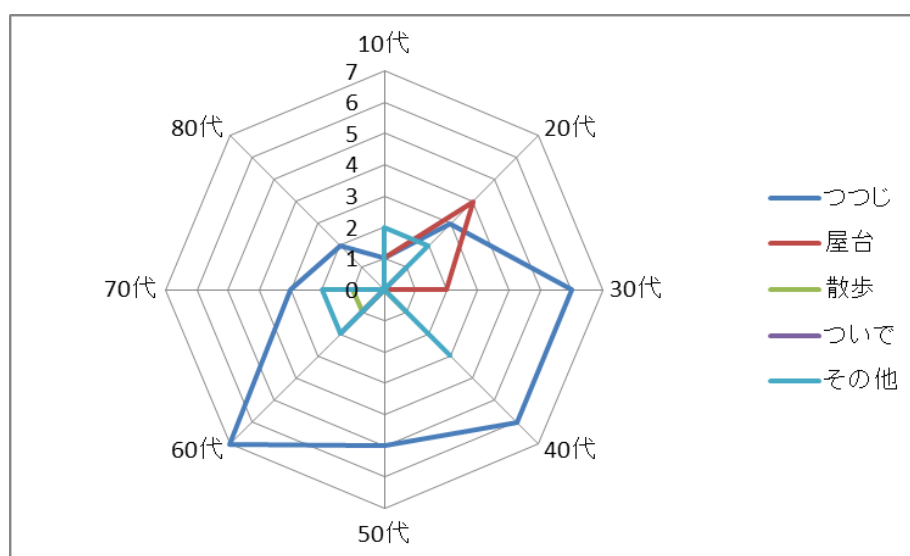
### ～クロス集計～

これらのデータの中から、我々はいくつかのデータを使用し、クロス集計を行った。クロス集計とはある2つの項目に注視し、データの分析や考察を行うことである。今回は2つのクロス集計を行った。

#### ① 年代と来訪目的の関係について

	つつじ	屋台	散歩	ついで	その他
10代	1	1	0	0	2
20代	3	4	0	1	2
30代	6	2	0	0	0
40代	6	0	1	0	3
50代	5	0	0	0	0
60代	7	1	1	2	2
70代	3	0	1	0	2
80代	2	0	0	0	0
合計	33	8	3	3	11

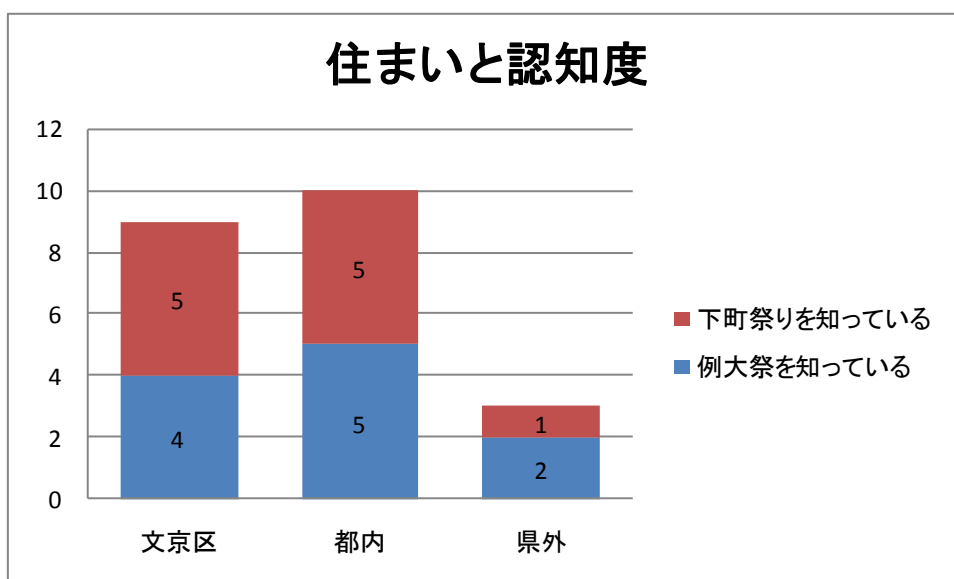
合計 58回答



年代と来訪目的のクロス集計については上の表のようになった。この表からわかることは10代と20代の方々を除いては主な来訪目的がつつじ観賞となっているということである。

これから、10代20代の若者を来訪者に取り込んでいくためには、つつじの魅力や、つつじまつりの歴史などの認知度の向上などが必要となってくるのではないかと考える。

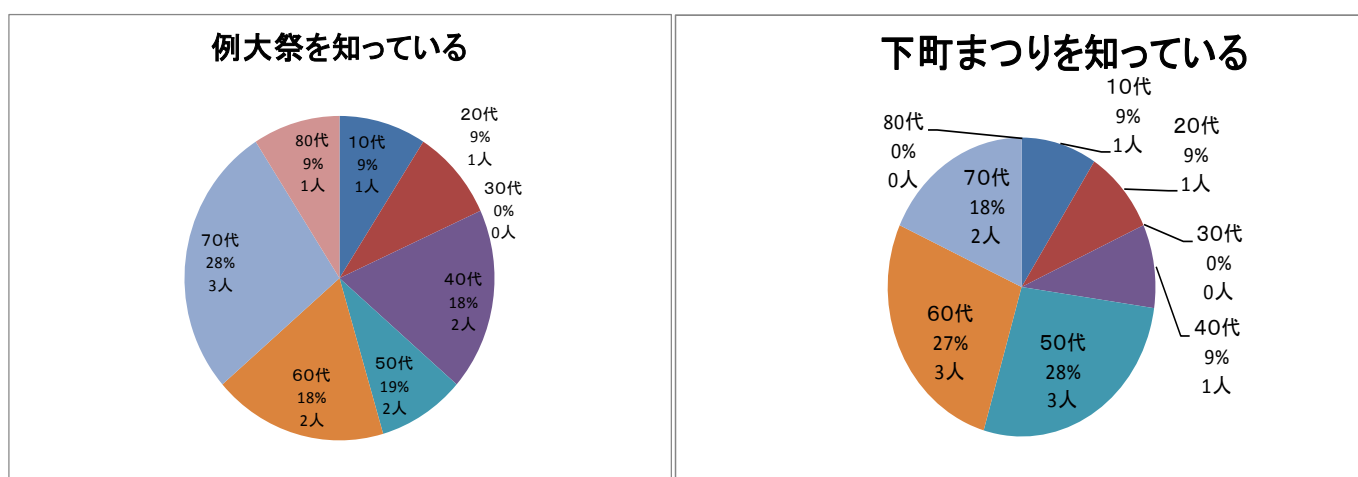
② 住まいと認知度の関係について



来訪客の住まいとお祭り(例大祭、下町まつり)の認知度に関するクロス集計は上の表のようになった。この表からわかることは、どちらのお祭りも文京区民からは 50%以上の認知を得ているということがわかるが、その一方、文京区以外の都内からの来訪者と東京都以外からの来訪者の認知度は極めて低いという結果になった。

これから、根津神社で行われる 3 つのお祭りそれぞれの認知度を上げていくためにも、まずは、文京区内での認知度の向上がより、必要になると考える。

③ 年代と認知度について



来訪者の年代とお祭り(例大祭、下町まつり)の認知度の関係についてのクロス集計は上の表のようになった。この表からわかることはどの年代においても来訪者の認知度は低いことが見て取れる。

これから、この根津神社の祭りの歴史を長く保っていくためにも、どの世代の人々の認知度を上げていくにも、様々な工夫をしていくことが必要だと感じた。

## 2. 例大祭の概要

例大祭は9月の中旬に行われ、六代将軍徳川家宣が幕制度により、根津神社の祭礼を定めたことが始まりだと言われている。三大祭の中で唯一、出し物として神輿が担がれ、境内周辺に立ち並ぶたくさんの露店は、祭りならではのにぎやかな雰囲気味わえる。

### ～アンケート内容～

今回、我々は以下の内容で被験者にアンケートを行った。

性別	被験者の属性を把握する
年齢	被験者の属性を把握する
お住まい	被験者の属性を把握する
認知媒体	有効な情報手段を知り改善点を探る
同伴者の有無	まつりに誰と来ているかを把握する
来訪目的	来訪理由を知る
来訪回数	リピート率を把握する
文京つつじまつりの認知	文京つつじまつりの認知度を把握する
文京つつじまつりの来訪予定	文京つつじまつりの認知度・利用率を把握する
下町まつりの認知	下町まつりの認知度を把握する
下町まつりの来訪予定	下町まつりの認知度・利用率を把握する
例大祭の良かった点	継続していくべき点を把握する
例大祭の悪かった点	改善すべき点を把握する
例大祭についての要望	まつりへの満足度・意見を把握する

#### ④ 調査目的

例大祭を利用している人の属性を知り他の2つのまつりと比較するためである。

#### ⑤ 日時

平成25年度9月21日、22日の計2日間である。

#### ⑥ 場所及び被験者

例大祭において、来場者を対象に実施した。



## 根津神社例大祭 東海林ゼミアンケート

1. 性別 < 男性 / 女性 >
2. 年齢 < 19歳以下/20代/30代/40代/50代/60代/70代 >
3. お住まい < >
4. 例大祭はどちらで知りましたか。  
< ポスター/回覧板/掲示板/口コミ/通りすがり/ホームページ/その他 ( ) >
5. あなたは誰といらっしゃいましたか。 < 友達/家族/1人で/その他 ( ) >
6. 来訪目的 例) 屋台の商品を購入、出し物の鑑賞 etc...  
< >
7. 例大祭は何回目ですか。 < 初めて/2~5回/6~9回/10回以上 >
8. 5月に開催されている文京つつじまつりは知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >  
c. はいと答えた方にお聞きします。つつじまつり来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >
9. 10月に開催されている下町まつりは知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >  
c. はいと答えた方にお聞きします。下町まつり来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >
10. 例大祭の良かったところを挙げてください。  
< >
11. 例大祭の悪かったところを挙げてください。  
< >
12. 例大祭について要望があったら書いてください。  
例) ゴミ、トイレ、不便 etc...  
< >

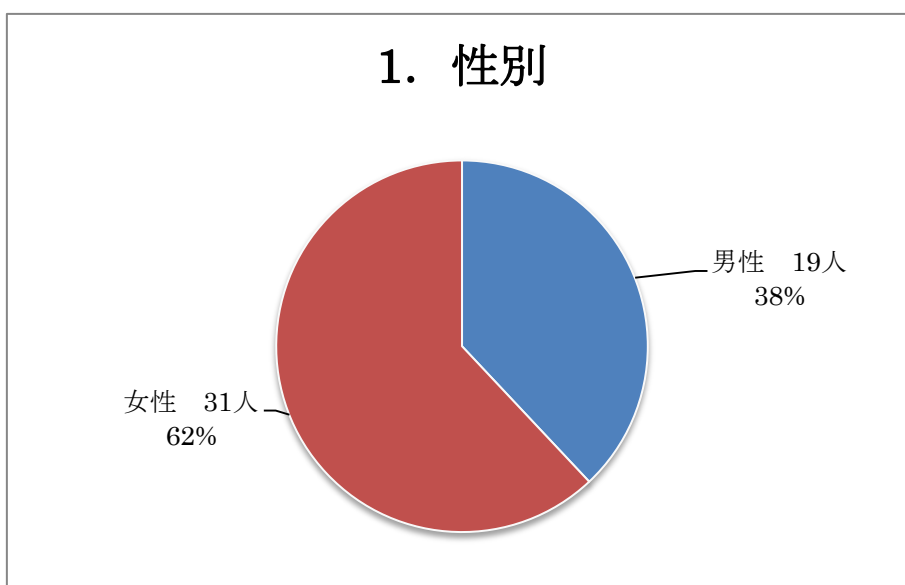
回答ご協力ありがとうございました。

### ～アンケート結果～

今回の例大祭のアンケート被験者数は50人であった。三連休ということもあり、多くのお客さんにぎわった。

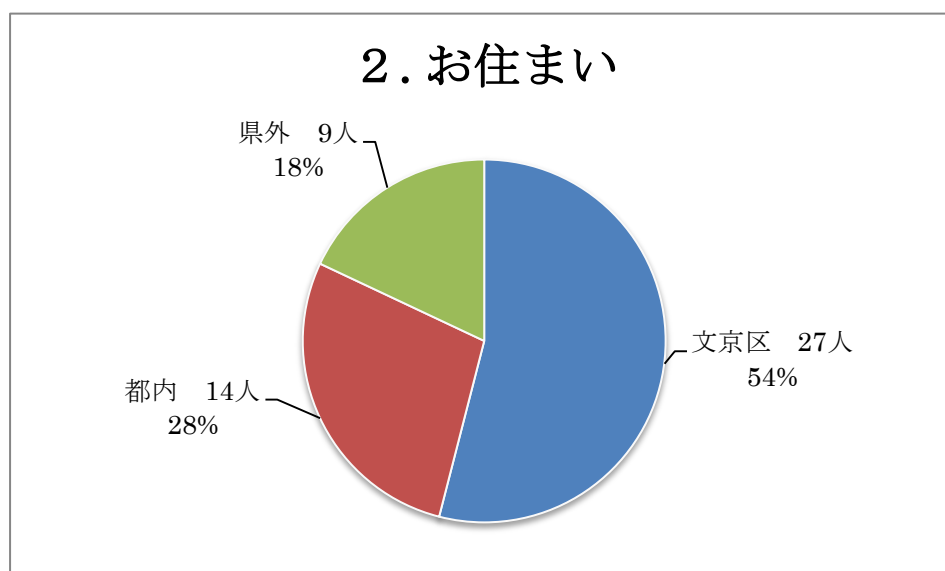
早速アンケートの結果について、以下に記していきたい。

#### (1) 性別



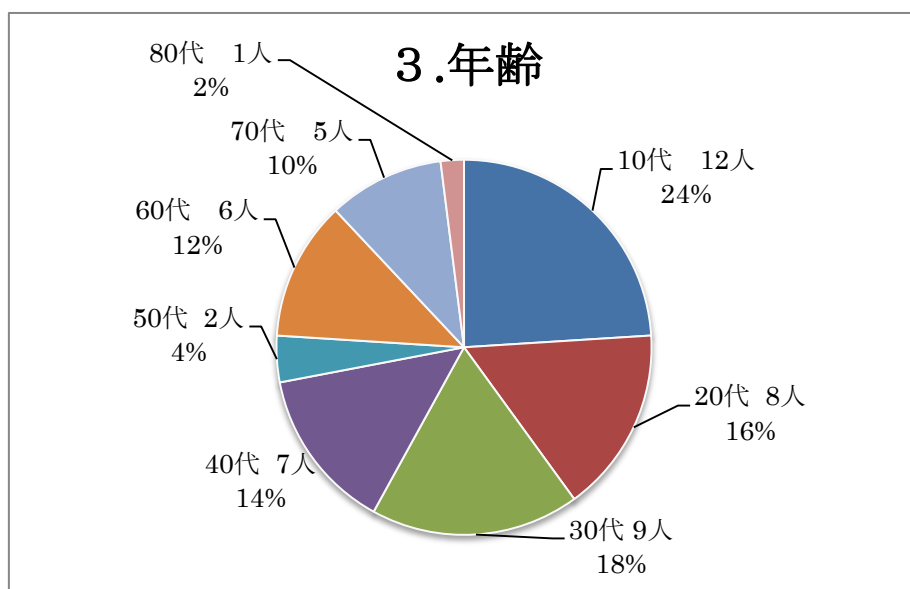
今回のアンケートは50人の方に答えてもらった。そのうち女性が31人で全体に占める割合は62%、男性が19人で38%であった。例大祭もつつじまつりと同様に女性の来訪者が多く見られた。

#### (2) お住まい



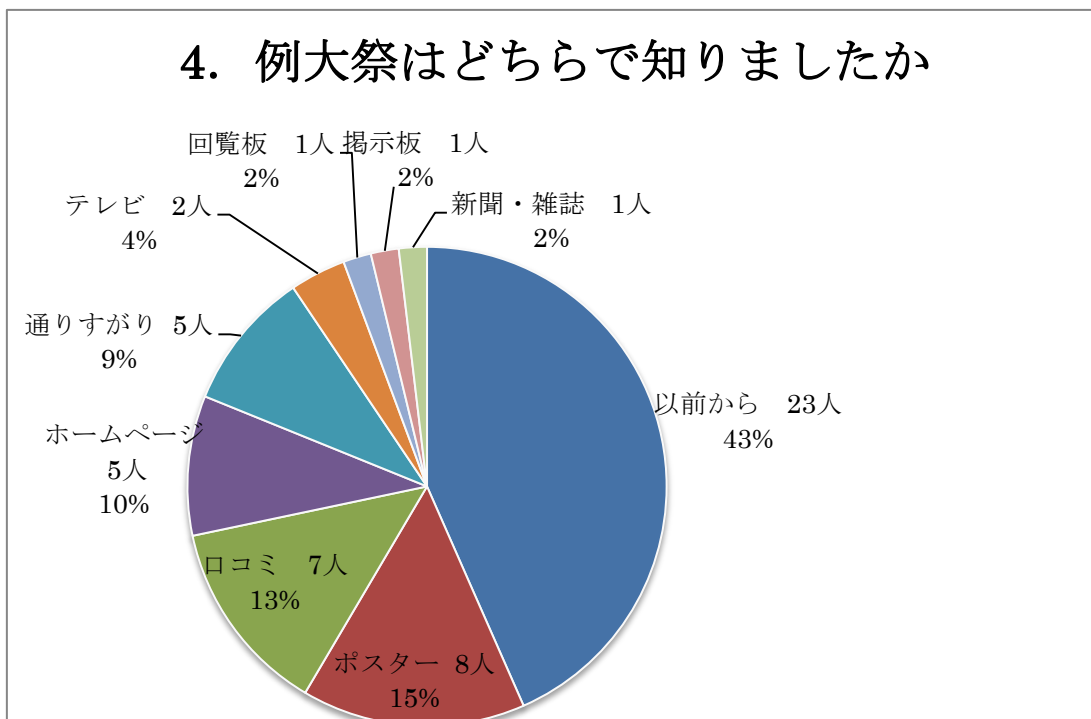
来訪者と居住地の関係についてのグラフを見ると、被験者のうち、根津神社の近隣地域である文京区に住んでいる人は27人で54%と過半数を占め、圧倒的に多かった。次いで多かったのは文京区以外の都内であり、14人で28%、最も少なかったのは県外であり、9人で18%だった。このグラフから、例大祭が近隣地域の住民に親しまれたお祭りであることがわかる。

### (3)年齢



年代別の利用者数を上位から見てみると、10代が12人で24%と最も多く、次いで30代が9人で18%、20代が8人で16%と若年層の利用者が目立つことが分かった。40代の割合は14%、60代は12%、70代は10%なので年齢層の偏りはあまり激しくなく、どの年代の人も、この例大祭を利用していることが分かる。少ないのは50代と80代でそれぞれ4%、2%の割合となった。

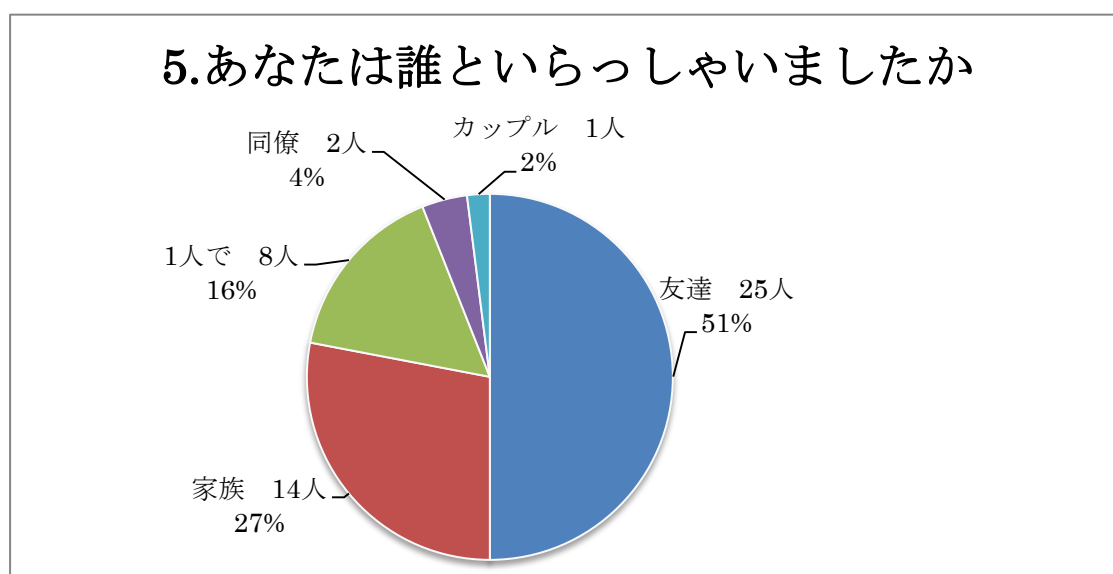
(4) 例大祭をどこで知ったか



例大祭をどこで知ったかについては、全体の 43%が、以前から知っているという結果になった。その次に、ポスターで知ったと言う人が 8 人で 15%、口コミが 7 人で 13%、ホームページが 5 人で 10%、通りすがりが 5 人で 9%、テレビが 2 人で 4%、回覧板・掲示版・新聞・雑誌が 1 人で 2%となった。

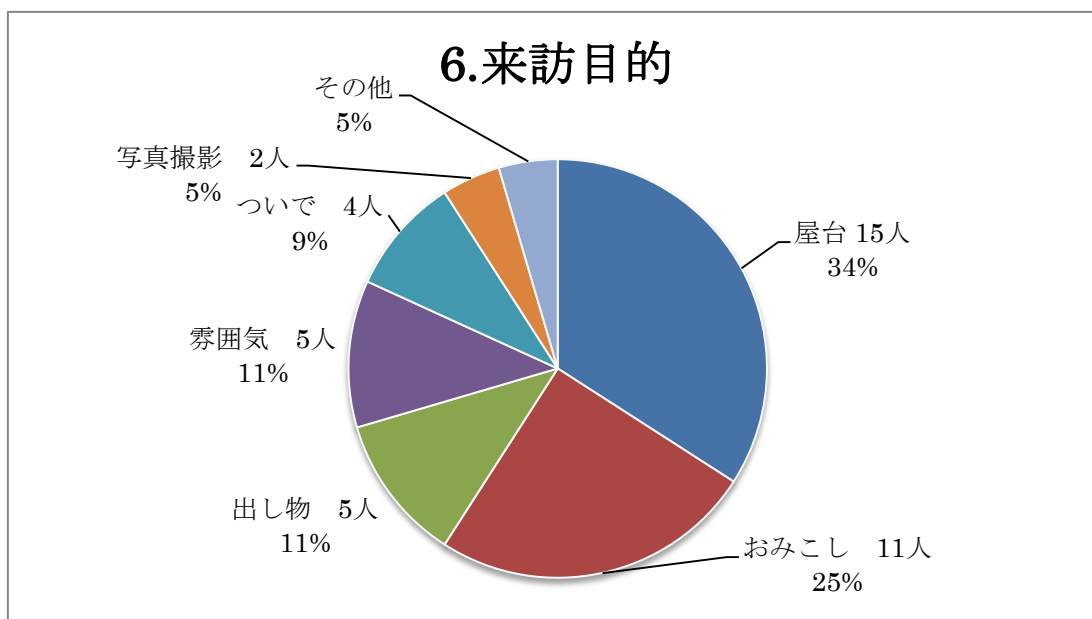
全体の 4 割にも及ぶ人が、以前から知っているという結果になったのには、例大祭の出し物の中に神輿が含まれている事が深く関係していると考察する。

(5) 同伴者について



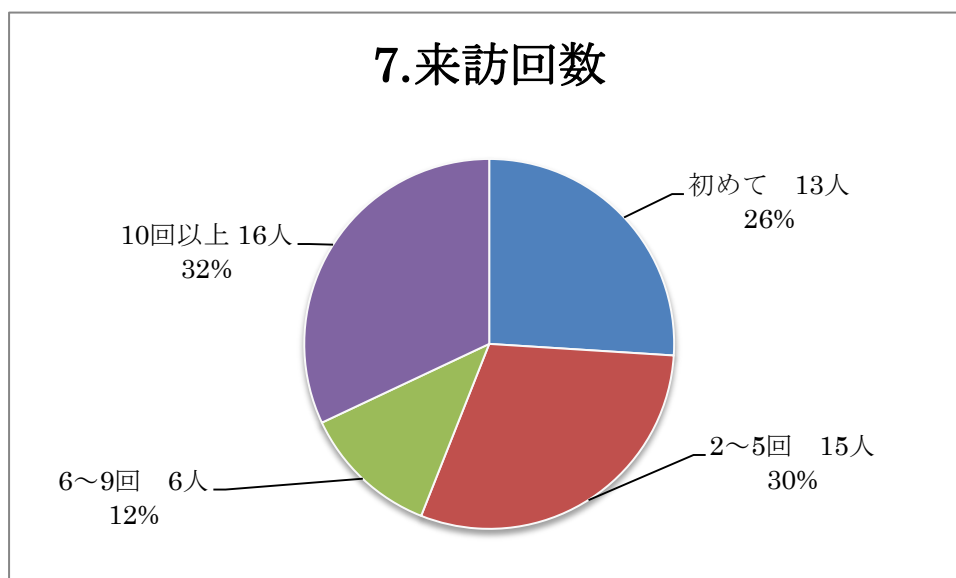
例大祭に誰と訪れたかという質問に対しては、友達が25人で51%、家族が14人で27%、1人で来た人が8人で16%、同僚が2人で4%、カップルが1人で2%となった。

### (6) 来訪目的



来訪目的は、屋台が15人で34%、おみこしが11人で25%、出し物が5人で11%などであった。屋台目当ての人が多いことが分かった。

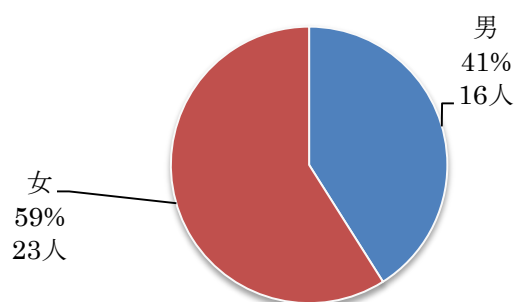
### (7) 来訪回数



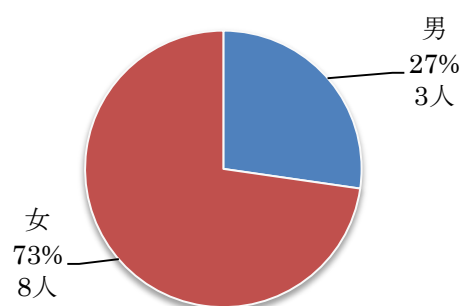
来訪回数は、初めての人が13人で26%、2~5回が15人で30%、6~9回が6人で12%、10回以上が16人で32%という結果になった。来訪者の三割の人が10回以上訪れたことがあるようで、昔からの地域のお祭りで毎年来ているという声も多かった。

(8) つつじ祭りを知っていますか？

8. つつじまつりを知っていますか  
はい

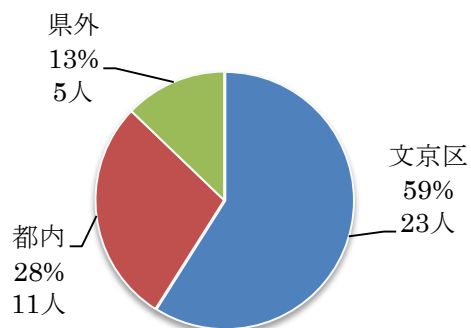


8. つつじまつりを知っていますか  
いいえ

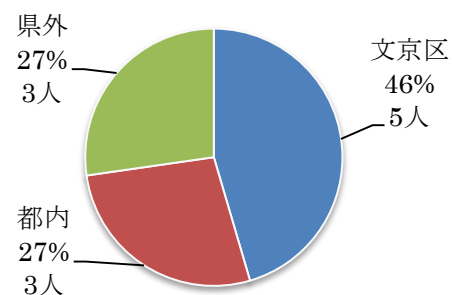


つつじまつりの認知に関する質問に対して、「はい」と答えた人は50人中39人で全体の80%、「いいえ」と答えた人は11人で全体の20%であった。多くの人がつつじまつりを知っている事が分かった。さらに、男女に分けて分析してみると、つつじまつりを知っている人は男性が16人、41%で女性は23人、59%でつつじまつりを知っている人の中で、男女の認知度の差はあまり見られないことが分かった。

8. つつじまつりを知っていますか  
はい



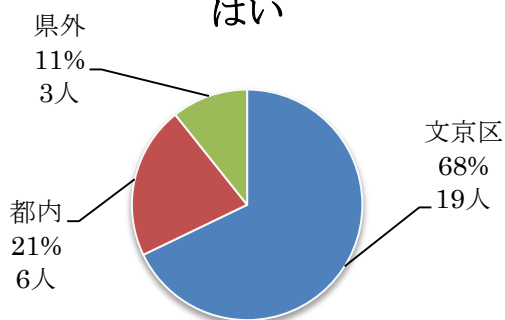
8. つつじまつりを知っていますか  
いいえ



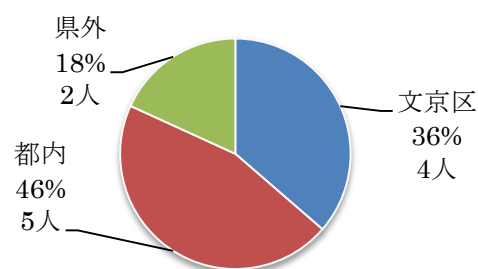
次に、地区別に認知度を分析すると、知っている人のなかでも文京区が23人、59%、都

内 11 人 28%、県外 5 人 13%と、文京区を含めた都内の認知度が高かった。県外の人でつつじまつりを知っている人はわずか 13%で、県外からの誘致がこれからの課題になってくると思う。また、「いいえ」と答えた人のなかでも 46%にもあたる人が、文京区の居住者であり、来年度以降も地元からの集客が可能である事が分かる。

### 8+a. つつじまつりの来訪予定はありますか はい



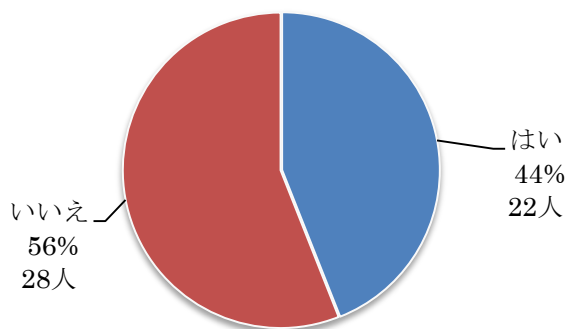
### 8+a. つつじまつりの来訪予定はありますか いいえ



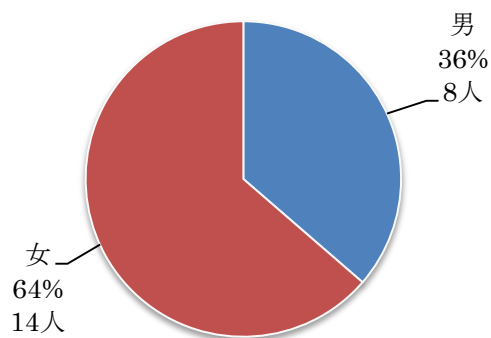
例大祭を知っている人の中で、来訪予定がある人は 28 人で、文京区は 19 人で 68%、都内は 6 人で 21%、県外は 3 人で 11%であった。来訪予定がない人は 11 人で、文京区 4 人で 36%、都内は 5 人で 46%、県外 2 人で 18%であった。つつじまつりを知っている文京区の人で 70%の人が来訪予定である事が分かった。しかし、都内の人は 11 人中 6 人が来訪予定であり、5 人がないと答えた。都内であっても、なかなか一つのお祭りに来てもらうのは難しいことが分かった。

### (9) 下町まつりを知っていますか

### 9. 下町まつりを知っていますか

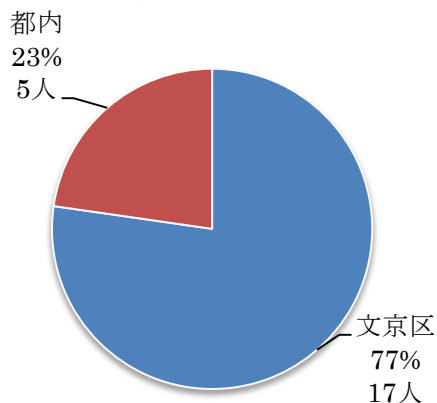


### 9. 下町まつりを知っていますか

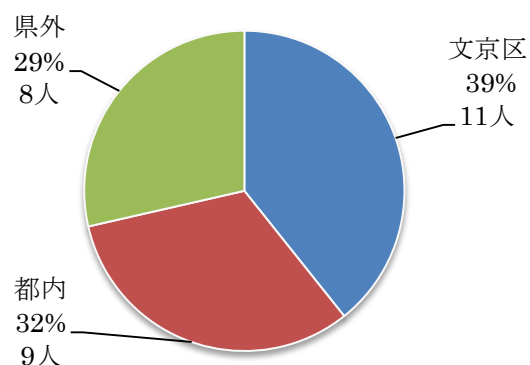


下町まつりを知っている人は、50人中22人、44%、知らない人は28人、56%であった。知っている人を男女で分けてみると、男の人が8人、36%、女の人が14人、64%であり、女の人からの認知度が高い事が分かった。

### 9.下町まつりを知っていますか 知ってる

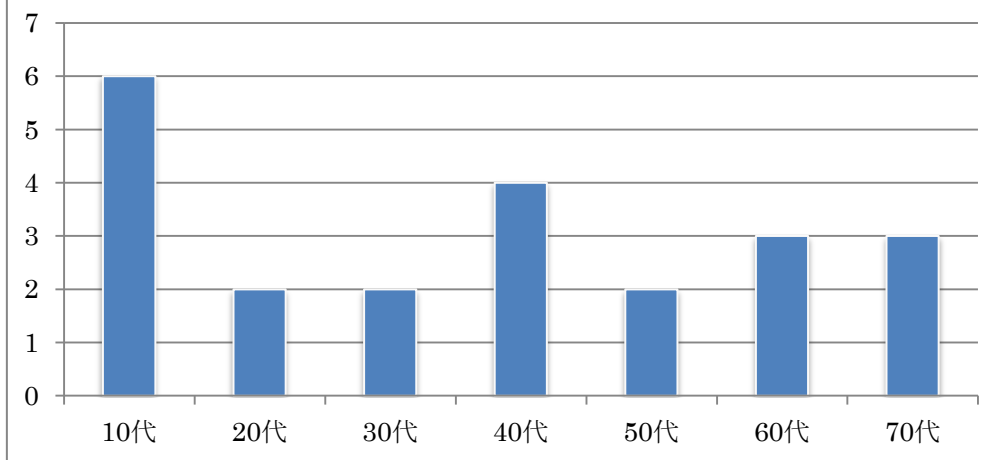


### 9.下町まつりを知っていますか 知らない



下町祭りの認知度を地域別にわけて分析すると、知っている人は文京区17人で77%、都内5人で23%、県外は0人であった。7割の人が文京区の人で、地域に根ざした祭りであることが読み取れる。また、知らない人を地域別でみてみると、あまり大差がないことが分かった。よって、住んでいる所に関係なく、宣伝する事が必要だと分かった。

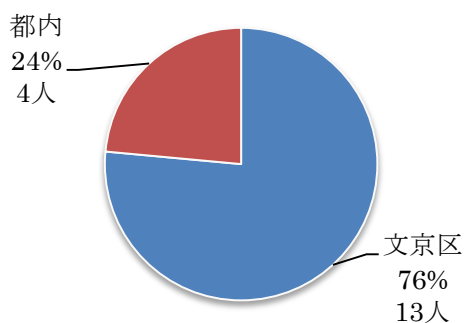
### 下町まつりを知ってる人 (年代)



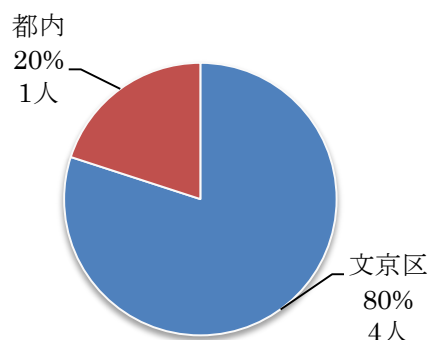


次に、年代別に知っている人を分析すると、特に 10 代と 40 代の人に知られていることが分かった。それ以外の年代は大体同じくらいの割合で知られていることが分かった。

### 9+a. 下町まっりの来訪予定は ありますか はい



### 9+a. 下町まっりの来訪予定は ありますか いいえ



下町まつり来訪予定は文京区が 13 人で 76%、都内からが 4 人で 24%であった。どちらも県外からの来場者は 0 人で、県外からの需要がないことが分かった。文京区からの来訪は、宣伝活動の工夫によって増やせると考える。

#### (10) 例大祭の良かったところ

自由回答の中で挙がった、主な回答をまとめる。

- ・屋台の種類や数が多く、楽しめる 16人
- ・にぎやかで活気のある雰囲気 12人
- ・太鼓などの魅力のある出し物 10人
- ・御神輿が迫力あって格好良い 4人
- ・地域の安心感、地域住民とのつながりを感じた 5人

賑やかな雰囲気が味わえたとの回答が多く見受けられた。これは屋台種類が多かったことや神輿や太鼓などの出し物があったためだとわかる。

#### (11) 例大祭の悪かったところ 自由回答

- ・休憩スペースが少ない 5人
- ・ゴミ捨て場がわからない 4人
- ・混んでいる 3人
- ・ごみが落ちている
- ・砂利が多くて歩きにくい

- ・屋台の数が少ない、屋台の値段が高い
- ・御神輿が少ない

休憩スペースが少ないことやゴミ捨て場の設置など整備に関わることの要望が多く見受けられた。このことからハード面での改善が必要なことがわかる。

#### (12)例大祭への要望

- ・共用のゴミ箱の数を増やしてほしい、わかりやすい場所に設置してほしいなどゴミ箱の設置に関する意見 7人
- ・休憩スペースを増やしてほしい 6人
- ・トイレの位置をわかりやすくしてほしい、衛生状態を良くしてほしいなどトイレに関する意見 3人
- ・出し物のスケジュールが記載された案内パンフレットがほしい 2人
- ・開催期間を長くしてほしい
- ・歌手を呼んでほしい

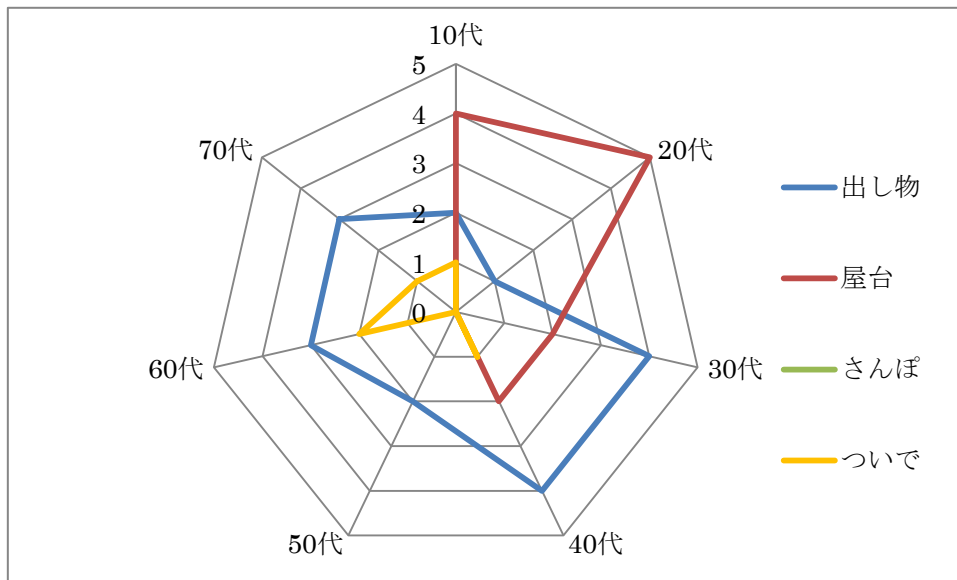
先ほどの項目にも記述したことだが、ゴミ箱の設置や休憩スペースの確保の要望が目立ち、まずは設備の充実が必要であることが分かる。祭りの良いところとして、屋台数や祭りの雰囲気などが挙がっているため、設備の面を改善すればもっと来る人が増えると考えられる。

#### ～クロス集計～

つつじ祭りとの比較ができるように①年代と来訪目的の関係について、②住まいと認知度の関係について、③年代と認知度の関係について、今回もつつじ祭りと同様の3項目でクロス集計を行った。

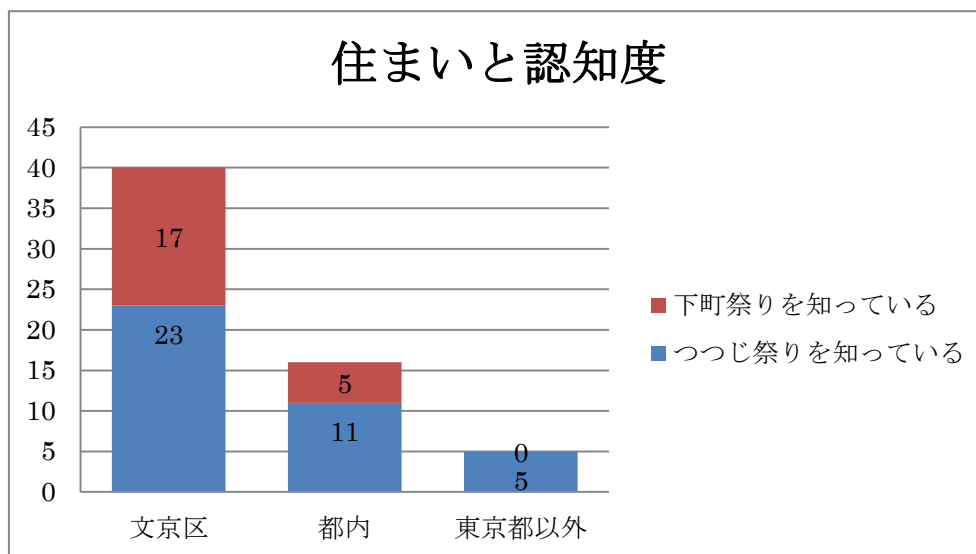
##### ① 年代と来訪目的の関係について

	出し物	屋台	ついで
10代	2	4	1
20代	1	5	0
30代	4	2	0
40代	4	2	1
50代	2	0	0
60代	3	0	2
70代	2	0	1



これは被験者の年齢と来訪目的がどのように関わっているかを表したグラフである。10代、20代の被験者は屋台の商品を購入することを目的としていること、30代から70代の被験者は出し物の鑑賞を目的としていることが目立っていることがわかる。

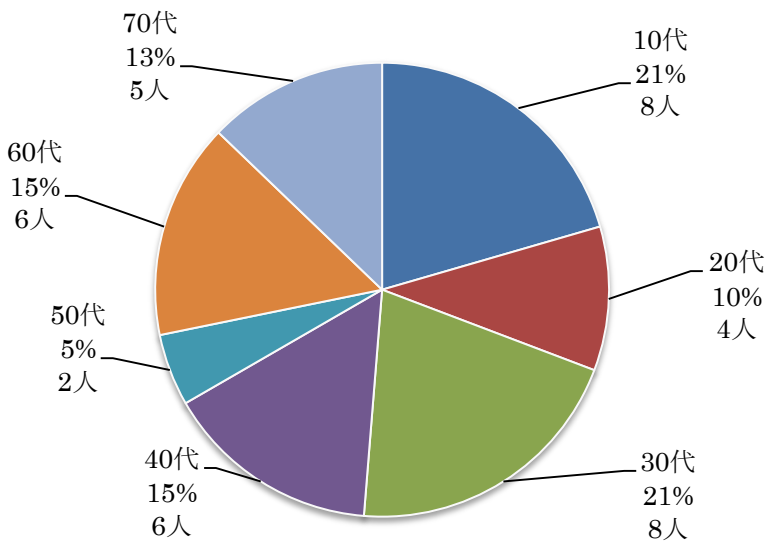
② 住まいと認知度の関係について



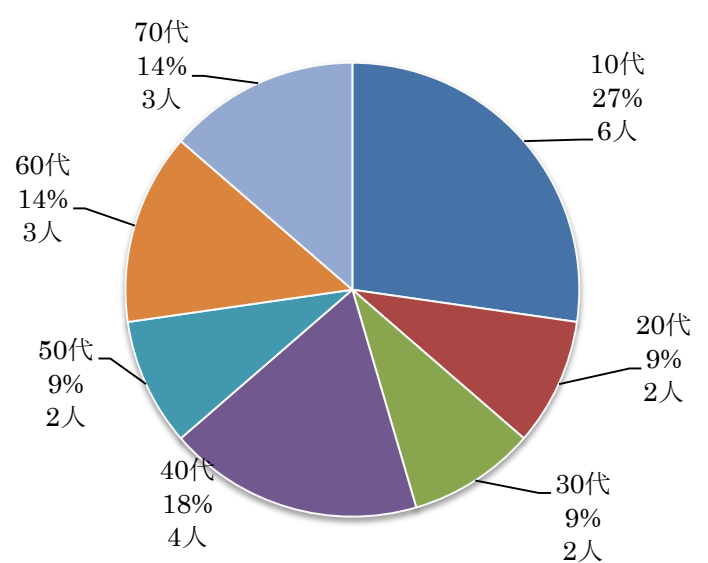
住まいと認知度の関係について見てみると、つつじ祭り、下町祭りともに文京区に住んでいる被験者の認知度が圧倒的に高く、例大祭来訪者のおよそ 5 割が文京区住民でもあったことから、3つのお祭りが文京区地域に根付いていることがわかる。また、下町祭りは都内、東京都以外の住民からの認知度の低さが目立ち、地域住民向けのお祭りであることが予想される。つつじ祭りは認知度がそれほど高いわけではないが、文京区以外の住人からも知られていることから、観光客も巻き込めるようなお祭りなのだろう。

### ③ 年代と認知度について

#### つつじ祭りを知っている



#### 下町祭りを知っている



最後に年齢による下町祭りとつつじ祭りの認知度の比較をしてみた。上のグラフを見ると、下町祭り、つつじ祭りともに 10 代の認知度が高いこと、つつじ祭りの 30 代の認知度が比較的に高いこと、下町祭りの 40 代の認知度が高いことを除けば、年齢による認知度の差はあまりない。お祭りがどの年齢層に対しても興味を引かせるものであることが伺える。

### 3. 下町まつりの概要

根津・千駄木地域で毎年10月に開催されるお祭りである。このお祭りは、昭和3年に文京区と台東区が共同で始めたお祭りが起源である。現在は文京区独自で行われており、今年で14回目である。メイン会場は根津神社。サブ会場は、この地にゆかりのある文豪、森鷗外の記念館を含む、計9会場である。

#### ～アンケート内容～

今回、我々は以下の内容で被験者にアンケートを行った。

性別	被験者の属性を把握する
年齢	被験者の属性を把握する
お住まい	被験者の属性を把握する
認知媒体	有効な情報手段を知り改善点を探る
同伴者の有無	まつりに誰と来ているかを把握する
来訪目的	来訪理由を知る
来訪回数	リピート率を把握する
文京つつじまつりの認知	文京つつじまつりの認知度を把握する
文京つつじまつりの来訪予定	文京つつじまつりの認知度・利用率を把握する
例大祭の認知	例大祭の認知度を把握する
例大祭の来訪予定	例大祭の認知度・利用率を把握する
下町まつりの良かった点	継続していくべき点を把握する
下町まつりの悪かった点	改善すべき点を把握する
下町まつりについての要望	まつりへの満足度・意見を把握する

#### ⑦ 調査目的

下町まつりを利用している人の属性を知り他の2つのまつりと比較するためである。

#### ⑧ 日時

平成25年度10月19日、20日の計2日間である。

#### ⑨ 場所及び被験者

下町まつりにおいて、来場者を対象に実施した。

## 根津・千駄木下町まつり 東海林ゼミアンケート

1. 性別 < 男性 / 女性 >

2. 年齢 < 19歳以下/20代/30代/40代/50代/60代/70代>

3. お住まい < >

4. 根津千駄木下町まつりはどちらで知りましたか。  
<ポスター/回覧板/掲示板/ロコミ/通りすがり/以前から/ホームページ/その他 ( ) >

5. あなたは誰といらっしゃいましたか。 <友達/家族/1人で/同僚/カップル/その他 ( ) >

6. 来訪目的 例) 屋台の商品を購入、出し物の鑑賞、サブ会場訪問 etc...  
< >

7. 下町まつりは何回目ですか。 <初めて/2~5回/6~9回/10回以上>

8. 5月に開催されている文京つつじまつりは知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >

c. はいと答えた方にお聞きます。つつじまつり来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >

9. 9月に開催されている例大祭は知っていますか。 < a.はい / b.いいえ >

c. はいと答えた方にお聞きます。例大祭来訪予定はありますか。 < a.はい / b.いいえ >

10. 下町まつりの良かったところを挙げてください。

< >

11. 下町まつりの悪かったところを挙げてください。

< >

12. 下町まつりについて要望があったら書いてください。

例) ゴミの捨てる場所が分からない、案内がわかりにくい、不便 etc...

< >

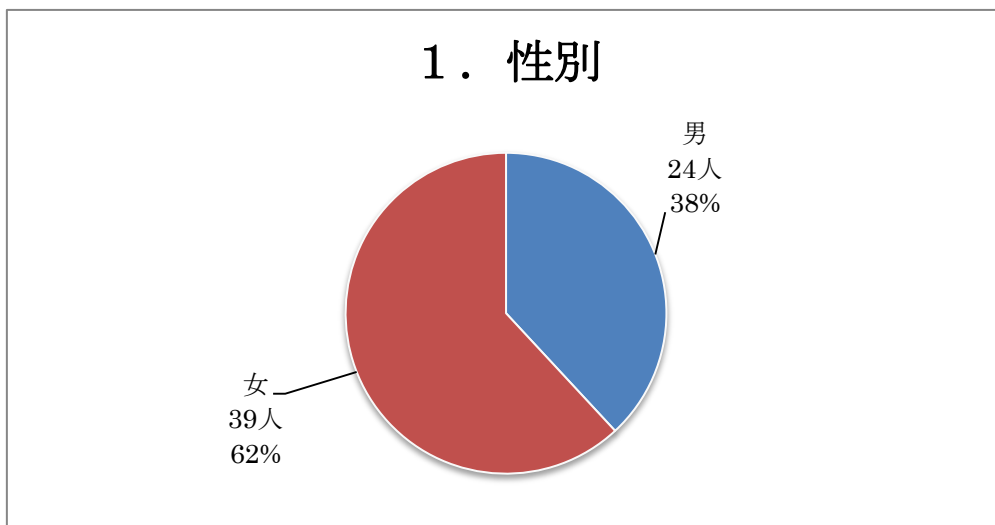
回答ご協力ありがとうございました。

## ～アンケート結果～

今回の下町まつりのアンケート被験者数は63人であった。下町まつりは2日間開催だったのだが、2日目は天候不順で思うようにアンケート調査がいかなかったのが要因でサンプル数をうまく伸ばせなかった。

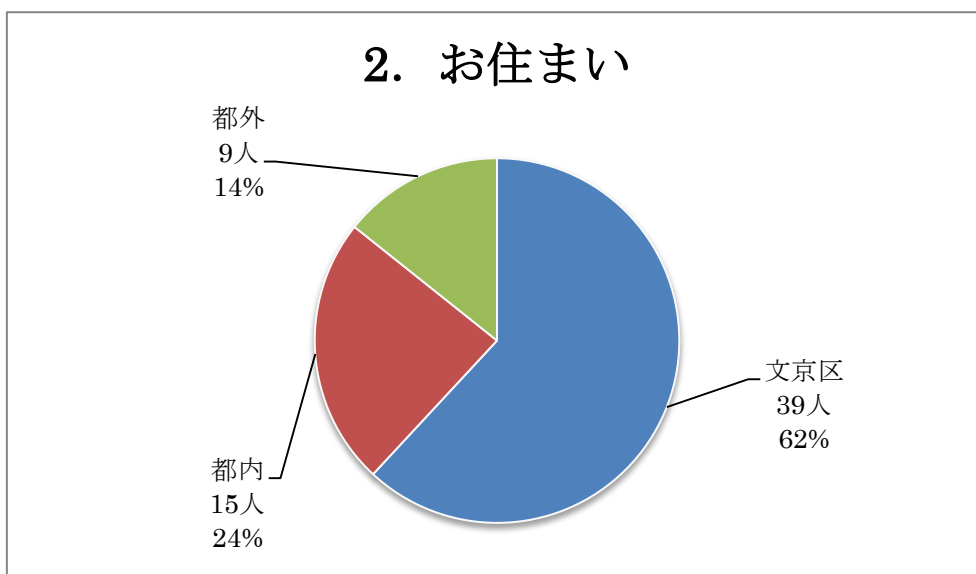
以下、アンケート結果を分析していく。

### (1) 性別



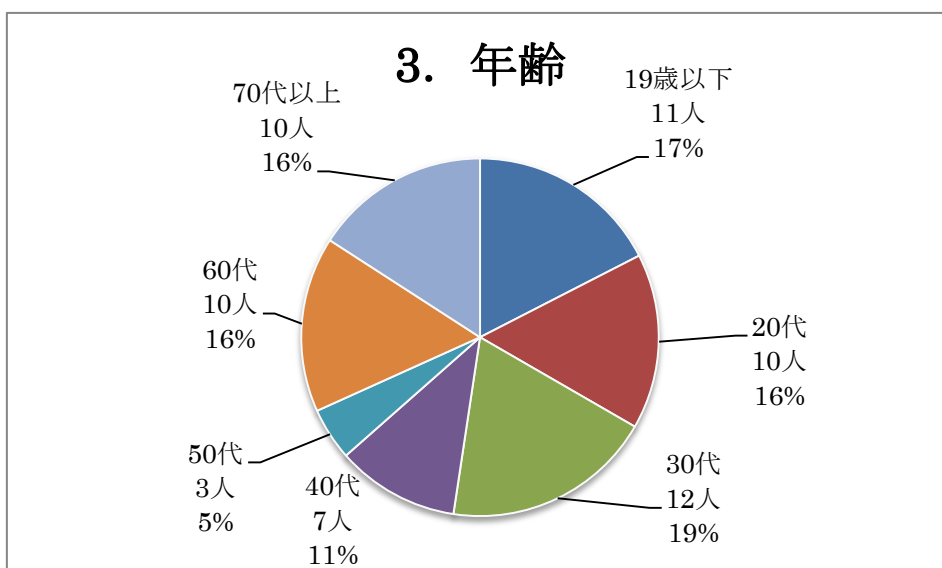
調査対象の割合は、男性が24人で38%、女性が39人で62%である。これはお祭りということで、子供連れで来ている母親が多く見受けられたのが原因だと考えられる。

### (2) お住まい



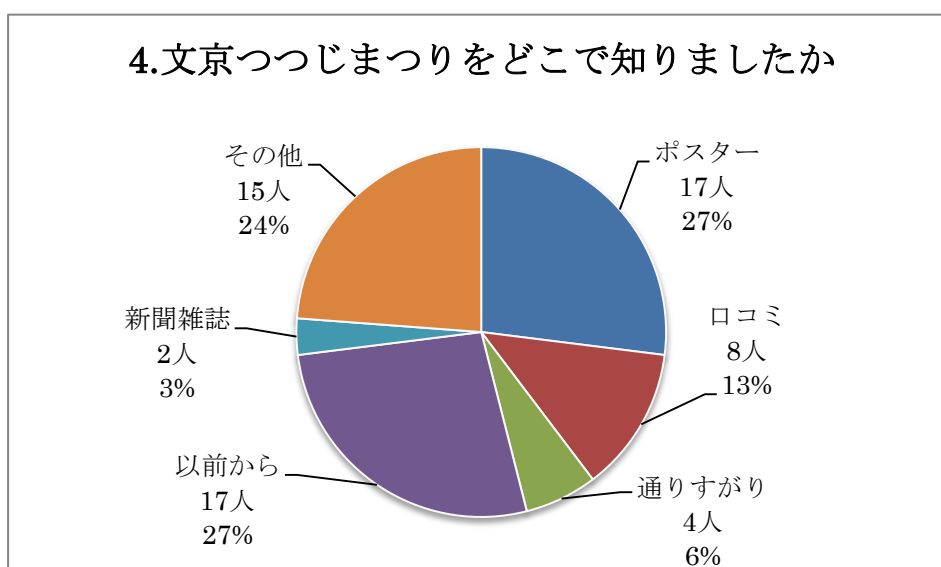
お住まいに関するアンケートについては、文京区に住んでいる方が 39 人で 62%、都内に住んでいる方が 15 人で 24%、都外に住んでいる方が 9 人で 14%。この結果から文京区内に住んでいる方が最も多く、地域に根付いたお祭りだということがわかる。逆に文京区外と都外の来訪者が少ないので情報発信が足りていないのではないかという分析もできる。

(3) 年齢



年齢に関するアンケートについては、19歳以下の方が11人で17%、20代の方は10人で16%、30代の方は12人で19%、40代の方は7人で11%、50代の方は3人で5%、60代の方は10人で16%、70代以上の方は10人で16%と、年齢によってバラつきがあることがわかった。ただ他のお祭りよりも若年層が多く来訪しているものと分析ができる。また年配者も多い。

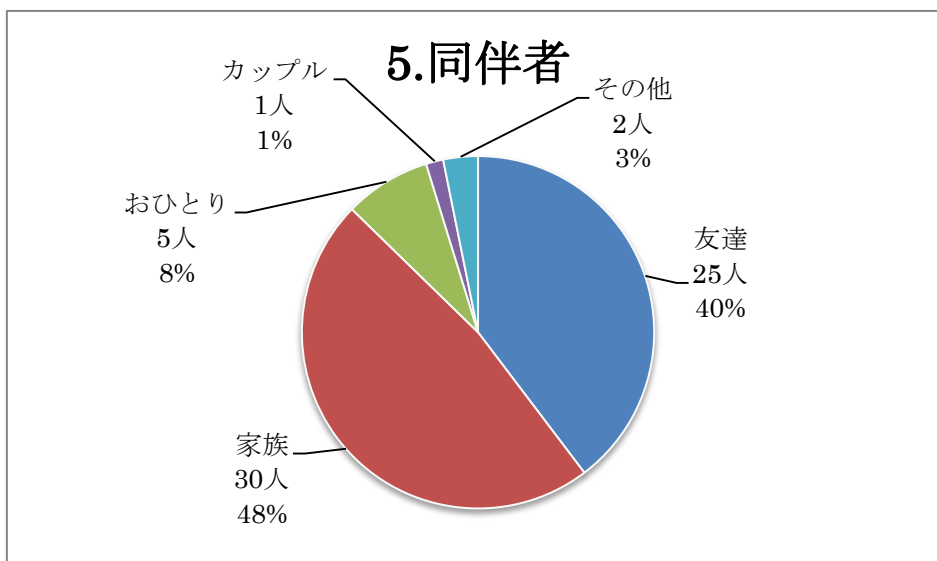
(4) 下町まつりをどこで知ったか





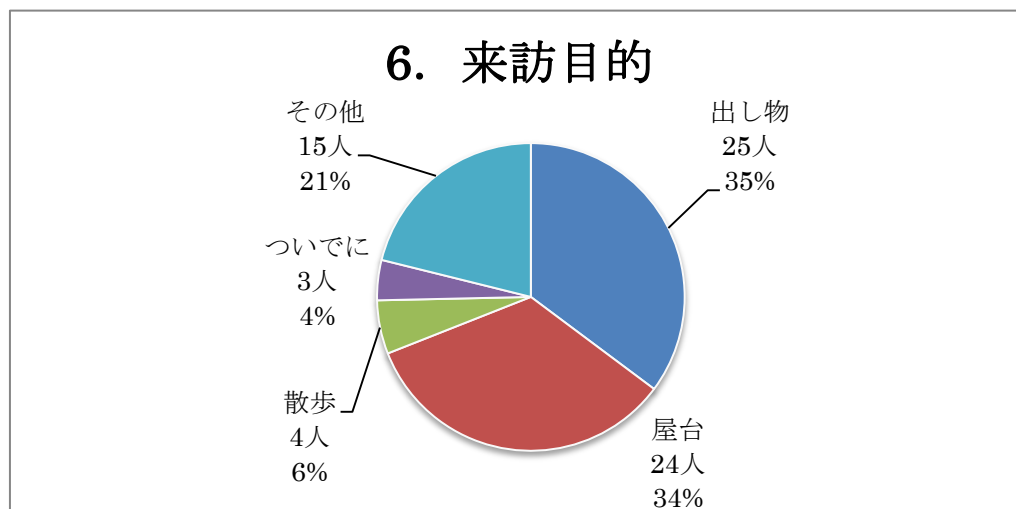
お祭りの認知場所の結果として、多いものがポスターを見てが 17 人で 27%と、以前から来訪しているからが 17 人で 27%である。ちなみにその他の項目には、「友達に誘われたから」や「家族と一緒にいこうと誘われたから」などのものも多く見受けられ、口コミに近い形のものが多いので、慣れ親しんだお祭りを伝えていくことの重要性を感じられる。また、この質問は複数回答可にした。

#### (5) 同伴者について



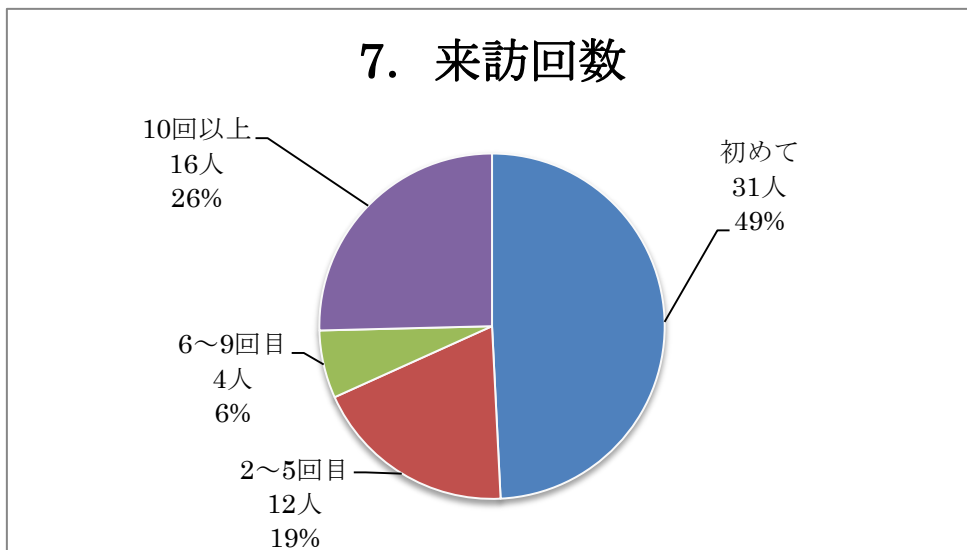
同伴者については、家族と一緒に来た割合と友達と一緒に来た割合が非常に高いことから、地域に根付いていたお祭りであることが分析できる。グラフの関係で次頁に移る。

#### (6) 来訪目的



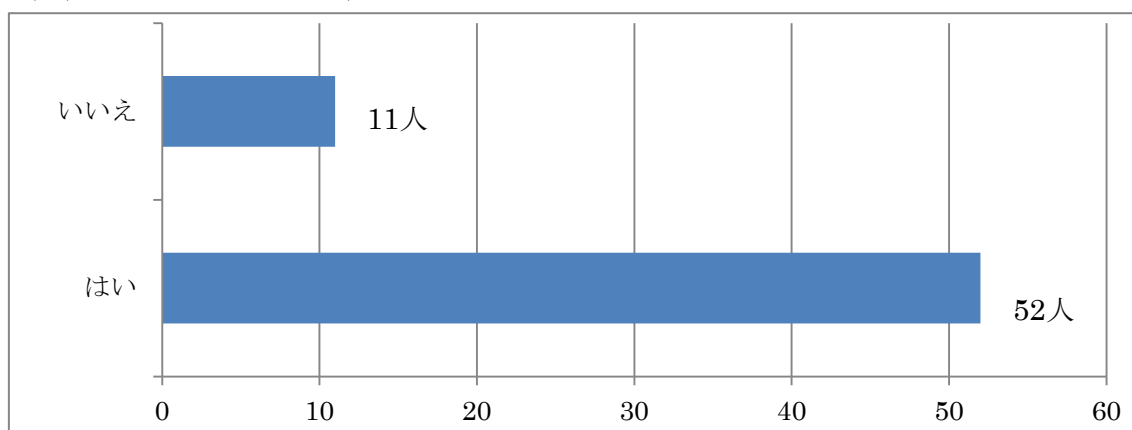
来訪目的についてだが、メイン会場である根津神社では、屋台がメインなので割合が高い。我々の出店を毎年楽しみに来ているという方も多く見受けられた。またメインステージでやっている地域の人々の出し物も期待されていることが分かった。

#### (7) 来訪回数



来訪回数についてだが、意外にも初めての来場者が多い。認知場所での分析でも述べたように、友人や家族からのお誘いで一緒に来訪された方が多いのだろうと分析した。また、初めての来場者に次いで10回以上訪れている人が多いことが特徴で、非常にリピーターが多いおまつりだといえる。

#### (8) 文京つつじまつりの認知について

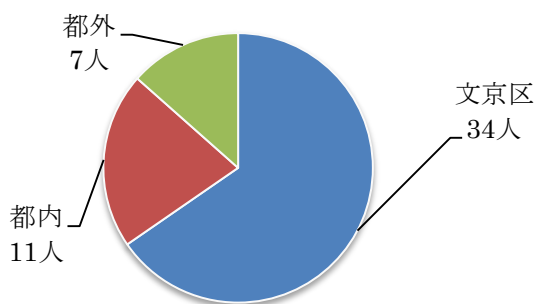


下町まつりに来訪された方のなかで、つつじまつりを認知している人は52人と合計で63人のサンプルの82%とかなりの割合を占めている。

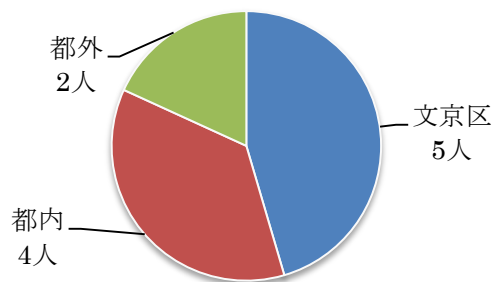
ここからは下町まつりが地域に根付いたお祭りということなので、住んでいる地域別に分析していきたいと思う。

<地域別の文京つつじまつりの認知について>

### 8. つつじまつりを知っていますか はい

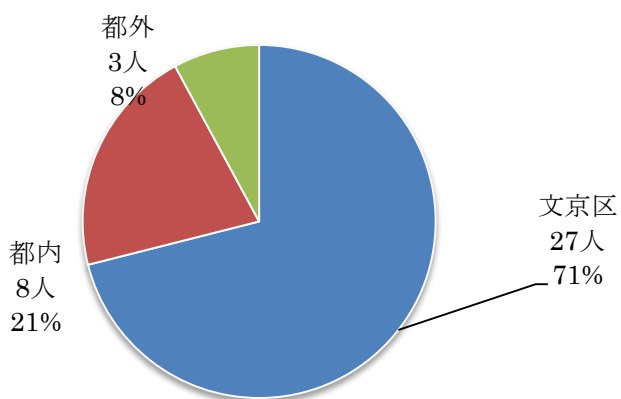


### 8. つつじまつりを知っていますか いいえ

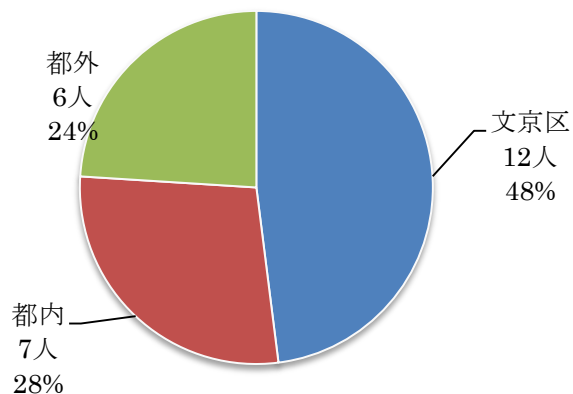


元々、文京区の数が多いのでパーセンテージではなく実数でみていくが、やはり文京区の方々への認知度が高い。よって、誘致圏を配慮しつつ地域外への情報発信をしていくべきだと思う。

### 8+a. つつじまつりの来訪予定は ありますか はい

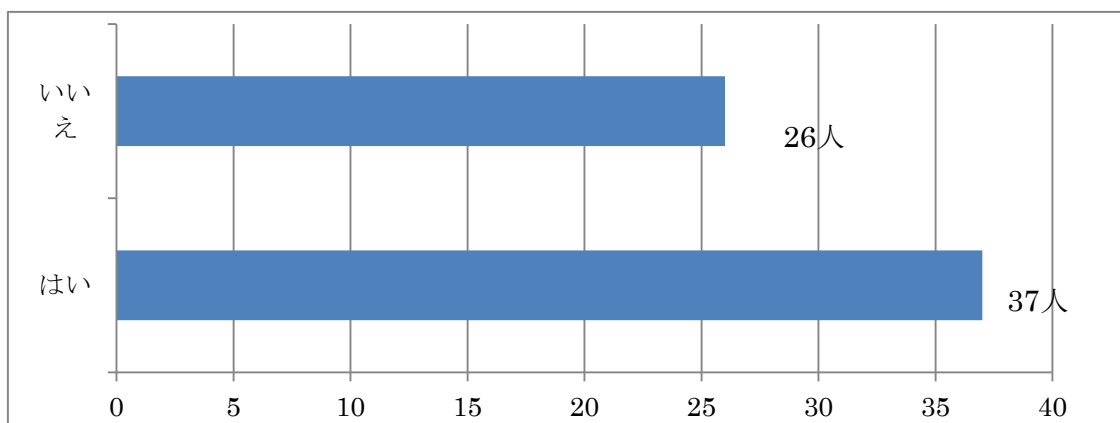


### 8+a. つつじまつりの来訪予定は ありますか いいえ



つつじまつりを知っている人の中で、来訪予定がある人は38人で、その中でも文京区が27人で71%であった。ここから分かることは、認知が来訪意欲に直接繋がるということである。

(9) 例大祭の認知について

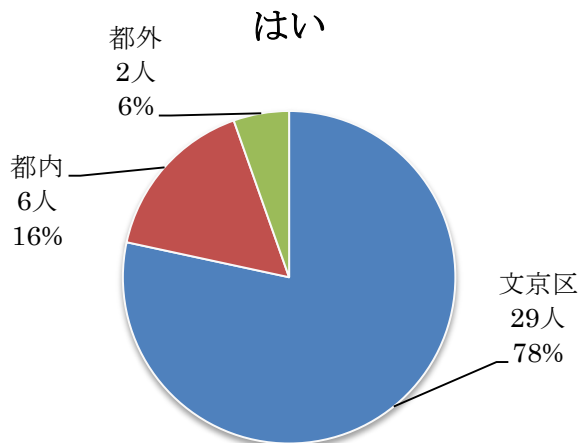


下町まつりに来訪された人の中で、例大祭を認知している人は37人と63人のサンプルのうち57%の人が知っていて約半分の人が認知していた。これにより、全国各地から来訪客が来るつつじまつりのほうが例大祭より認知度が高いことが分かる。

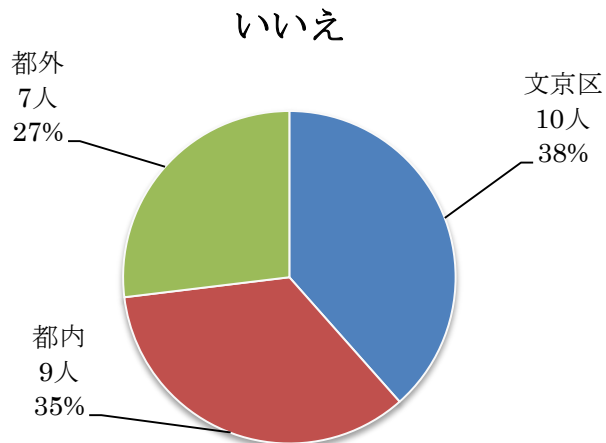
次に例大祭も地域に根付いているお祭りなので、地域別の認知度について分析していく。

<地域別の例大祭の認知について>

9. 例大祭を知っていますか

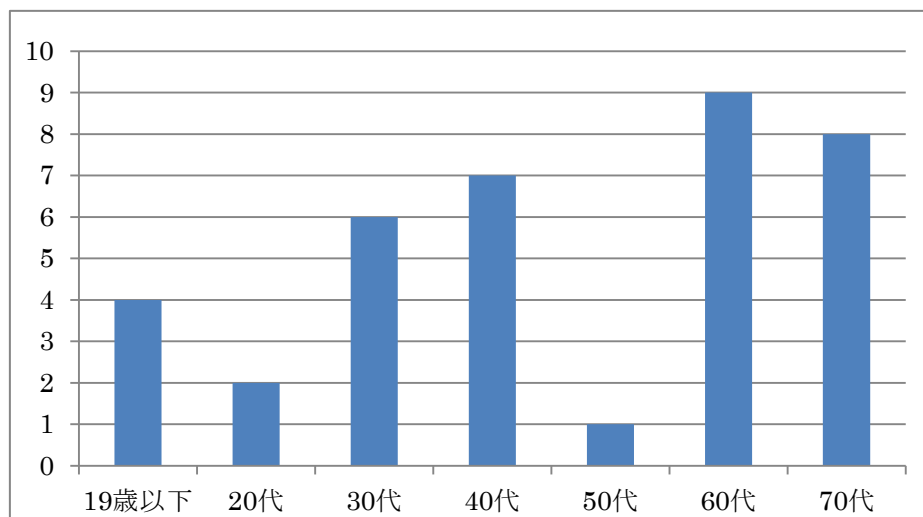


9. 例大祭を知っていますか



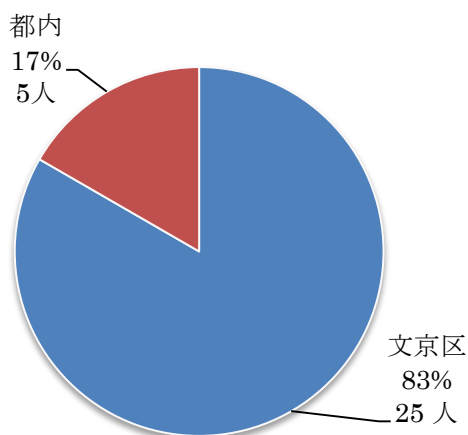
例大祭を認知している人は、63人のサンプルのうち37人で、そのうち最も多いのは文京区民であった。やはり地域に根付いているお祭りだと言えよう。

<年代別の例大祭の認知について>

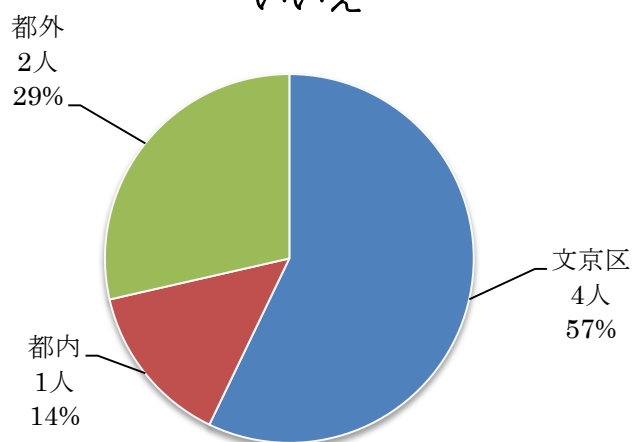


次に、年代別の認知について分析すると、60代70代の認知度が高いのが分かった。また30代40代の認知度も高いのが分かる。よって主婦層にも認知されているお祭りということが分かる。

9+a. 例大祭の来訪予定は  
ありますか  
はい



9+a. 例大祭の来訪予定は  
ありますか  
いいえ



例大祭の来訪予定は文京区が25人と圧倒的に多く、逆に都外の来訪予定者は0人だった。ここからも例大祭がいかに地域に根付いているかが分かる。

(10) 下町まつりの良かった点 自由回答

自由回答の中で挙げた主な回答をまとめる。

- ・にぎわっている 14人
- ・屋台の種類が多い 9人
- ・屋台がおいしい 10人
- ・子供のソーラン節の発表が良かった 5人
- ・下町らしい雰囲気がいい、庶民的 4人

この回答を分析すると、地域の方々が出店しているので良心的な価格設定の屋台が多かったことがうかがえる。

また、雰囲気もお祭りの重要な要素だということが分かる。

(11) 下町まつりの悪かったところ 自由回答

自由回答の中で挙げた主な回答をまとめる。

- ・犬が多い（衛生面が気になる） 3人
- ・フリーマーケットを雨でも開催してほしい 2人
- ・天気に左右されるところ 1人
- ・屋台の列が乱れていて嫌だ 1人

衛生面が気になるという意見が目立った。食品を売る上での基本的なマナーはしっかり守っていききたいと思う。

(12) 下町まつりに要望すること

- ・座る場所がない 6人
- ・トイレの場所を分かりやすくしてほしい 4人
- ・駅からの道のりが分かりにくい 3人
- ・何がどこで売っているかの案内をしてほしい 3人
- ・これからもこれくらいの規模で開催してほしい（現状維持） 2人

これらの回答から分析するに、開催会場についてのハード面についての要望とともに、ガイドマップに関する要望が出てきた。もう少し範囲を広げてガイドマップを配布すれば解消される要望だったと思う。

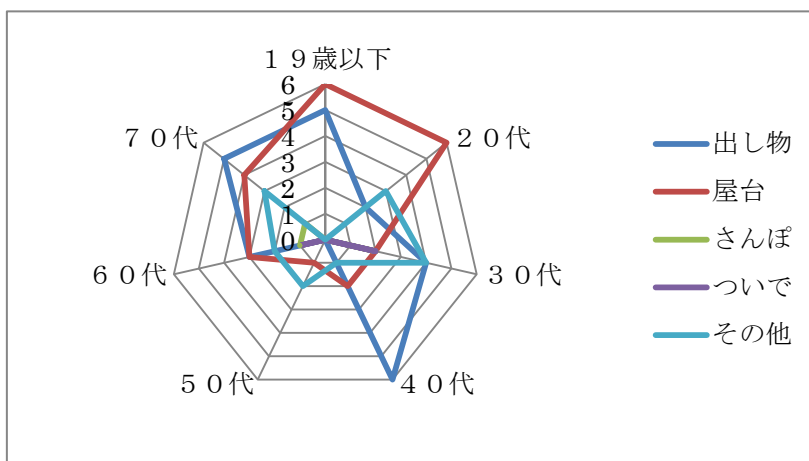
～クロス集計～

アンケート調査したいくつかのデータから、ピックアップをしてクロス集計を行う。

①年代と来訪目的について ②お住まいとおまつりの認知度について ③年代と認知度について の内容で集計していく。

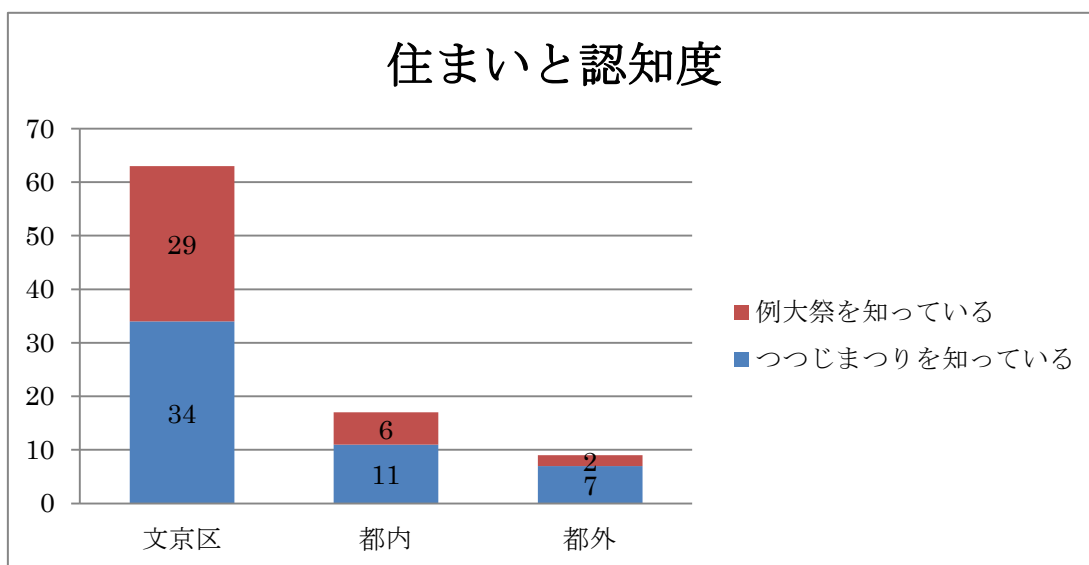
① 年代と来訪目的について

	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代
出し物	5	2	4	6	0	3	5
屋台	6	6	2	2	1	3	4
さんぽ	0	0	2	0	0	1	1
ついで	0	0	2	0	0	1	0
その他	0	3	4	1	2	2	3



年代別にみると、若者には出し物と屋台が人気であり、40代以上にも出し物が人気である。これは自身の子供や孫が出し物に参加していることや、年代が上がるにつれて鑑賞に関心が高まるからだと考える。

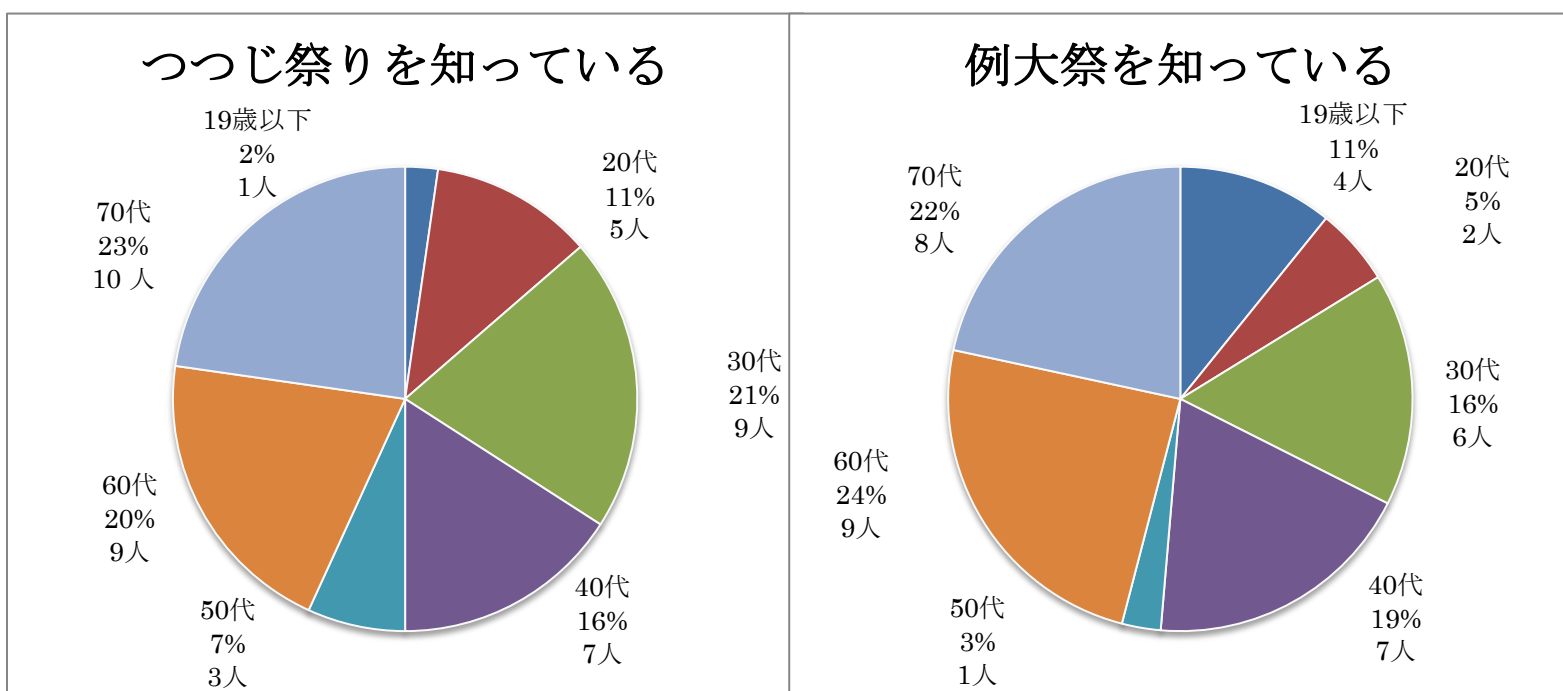
②お住まいと認知度について



つつじまつりは外部からの来訪者が多いとされているおまつりだが、やはり文京区内の認知度が高いことが分かった。毎年の開催期間が長いことも理由の1つだろう。都内や県外の居住者からの認識も高いことが特徴である。

例大祭は地域のおまつりとされているので、文京区の住民には認知されているが都内や県外の居住者からの認識は低い結果となった。これは、各地域、各神社で例大祭と名のあるおまつりがそれぞれ開催されているからではないかと考える。

③年代と認知度について





つつじまつりが30代・40代の認知度が高いのには少々驚いた。全体的に高齢者への認知度が高い。やはり、年を増すにつれて花への関心が高まるのではないか。

例大祭はどの世代からもよく知られているが、特に60代70代が割合の半数を占めており、高齢者からの認知度が高いことが分かる。

#### 4. まつり比較とまとめ

2013 年度に根津神社で開催された、文京つつじまつり、例大祭、下町まつりを比較した。特徴のある項目を比較する。

1 つ目は、性別である。アンケート調査結果、販売結果、実際におまつりを訪れて見たところ、全てのおまつりで女性の割合が高いことが挙げられる。これは親子連れが多くみられたからであると考えられる。また、女性の方がおまつりに関する意識が高いのではないと考えられる。

2 つ目は、年代と好みについてである。例大祭や下町まつりの年代に大きな特徴は見られなかったが、つつじまつりは 50 代以上が約半数を占めたことが特徴として挙げられる。つつじまつりのメインはつつじ鑑賞であり、30 代以降の年代の人々から支持を得ている。気候も暖かくなってきて活動しやすい点もお年寄りの来訪者を増やしたのではないだろうか。一方で、若年層が来訪していない訳ではなく、来訪目的が高齢者層とは異なっている。10 代、20 代からは、どのおまつりも屋台への支持が高く、要望も屋台に対するものが多かった。屋台への関心が高い分、つつじへの関心は低いのではないかと感じた。これらの結果からそれぞれ世代によって重視するもの、価値観が異なることがよく分かった。

3 つ目は、住まいとまつりの関係についてである。つつじまつりは、都内と県外の来場者で 8 割をこえていたが、例大祭と下町まつりは文京区の来場者が半数以上であったことが特徴として挙げられる。つつじまつりは他の 2 つのまつりと違い、つつじの開花時期に合わせて約 1 か月の開催期間を設けており、地元住民の来訪は平日や空いている日程に避けられたのではないかと考えられる。備考を含めても一番文京区以外からの来場者が多いことの原因として歴史が長く知られていること、取り上げるメディアの力が大きいのではないかと推測する。テレビ、雑誌で取り上げられ、ゴールデンウィークの旅行会社のツアーの内容にも含まれていることが、文京区以外の人にも広く知られている要因だと考える。一方で例大祭と下町まつりは、文京区の来場者が多かったことから、地元の人に支えられているおまつりであるといえる。

4 つ目は、認知媒体についてである。どのおまつりも口コミの力が大きいことがよく分かる。地域主体のおまつりであるため、文京区のコミュニティ内では非常に有名であると感じた。また開催時期を固定し、毎年活動を重ねているため、毎回訪れている来場者も多かった。メディア以外に有効な宣伝手段としては、例大祭、下町まつりでポスターをみて知ったと回答した人が多かったため、地元内での PR として、ポスター宣伝活動は有効だと感じた。しかし、今後都内、県外まで来場者を増やすには、情報発信の仕方に工夫が必要になるだろう。

5 つ目は、来訪回数についてである。つつじまつりと下町まつりは約 5 割の人々が初めて訪れたと回答したのに対して、例大祭は約 7 割の人がリピーターであった。これは、神輿の効果で毎年参加する人が多いのではないかと考えられる。そして、例大祭は参加型のまつりであるため、協力的な人が多いと感じる。また、初めて参加する人が多い理由として、

文京区は転入転出人口も多いためではないかと推測する。アンケートを行なっている間に存在を今年知ったという回答者もいたため、リピーターはこれからも増やしていけると感じた。

6つ目は、認知度についてである。3つのまつりでそれぞれのまつりに関する認知度調査を実施したところ、大きな差がでてきた。まず、3つのまつりの中で最も有名だったおまつりはつつじまつりである。つつじまつりのことを知っている人は8割超えで且つ来訪予定がある人も多かった。これは、文京区を代表するおまつりとして有名であるからだろう。下町まつりにおける例大祭の認知度調査では約6割の人が例大祭を知っているという結果を得たものの、他の調査では高い認知度が得られなかった。つつじまつりの来場者が例大祭、下町まつりを知っている割合はそれぞれ20%と低く、他のおまつりを知らない人が多い原因として、文京区民以外の人も多かったため根津神社に関する知識が被験者に無かったのではないかと推測できる。また、例大祭と下町まつりを訪れている人は3つのおまつりについて知っている割合が高い。例大祭と下町まつりは地域に根付いたまつり作りの結果地元でよく知られていた。

これらの調査より、それぞれのまつりで特化している部分があり、完全に比較することは難しいが、認知度が来訪意欲につながっていると考察する。根津神社で行われているまつりは年に何回か開催することで地域の結びつきを保つ役割を果たしているといえるだろう。アンケート調査を行なってもこの3つのまつりに対して前向きな意見が多く、地元の方のあたたかさを感じた。今後も根津神社のまつりは継続するべきだと考える。